

洛西ニュータウンアクションプログラム（案）

来て・観て 住み続けたくなるまち 洛西ニュータウン！

～訪れる人にも，住む人にとっても魅力的なまちを目指したアクション～

平成29年3月

洛西ニュータウンアクションプログラム検討会

目 次 構 成

1	洛西ニュータウンアクションプログラム策定趣旨	1
2	洛西ニュータウンアクションプログラム全体像	2
3	洛西ニュータウンの概要	3
4	洛西ニュータウンまちづくりビジョン（平成18年11月策定）について	5
5	現状（課題・資源・社会状況の変化）	7
6	取組の方向性	15
7	方針・テーマ・アクションプログラム	16
8	推進体制	45
9	参考資料	47

1 洛西ニュータウンアクションプログラム策定趣旨

洛西ニュータウンは昭和51（1976）年9月に入居が開始され、本年で41年が経過することになり、全国の同時期に建設されたニュータウンと同様、人口減少・少子高齢化が急激に進行しています。

このニュータウンにおいては、今から約10年前の平成18（2006）年11月に、「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」が策定され、いち早く、洛西ニュータウン創生推進委員会等の地域住民の方々が主体となって、まちづくり活動が取り組まれてきており、学区・地域を越えた連携や協力体制が構築されるに至りました。

しかしながら、前掲のとおり、人口減少、少子高齢化の進行に歯止めはかからず、地域全体の活力低下も見られる一方、住宅・施設等では老朽化が進み、設備や仕様が時代に合わなくなっているところや有効活用が図れていないところなどが見受けられる状況にあります。

このような状況にある洛西ニュータウンですが、良好な住宅・住宅地を供給するために必要なインフラ整備が計画的に行われている住宅市街地であり、住民の方々が今後も安心して住み続けられる環境づくりに取り組むとともに、若年ファミリー層の呼び込みや定住促進を図ることなどにより、次世代にしっかりと引き継いでいくことが必要です。

そのため、今一度「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」を基に、策定から10年を経た現状も踏まえながら、今後どのような取組を喫緊に、重点的に行う必要があるのかを、地域の住民や事業者や、行政などが幅広く連携しながら検討を行い、アクションプログラムとして取りまとめるため、平成28年4月に「洛西ニュータウンアクションプログラム検討会」を設置しました。

検討会での議論と合わせて、その補助組織であるワーキンググループにおいて、より具体的な内容を検討するとともに、より多くの住民の方々にも意見を出し合ってもらった場として平成28年8月28日に「まちづくりトーク」を開催し、地域住民の方々の御意見をお聞かせいただきながら、洛西ニュータウンアクションプログラムを策定しました。

このアクションプログラムで位置付けた様々な取組や検討内容について、一人ひとりの住民の方々や地域団体、住民組織の方々、地域に立地する事業者、教育機関、行政など、洛西ニュータウンに関わる全ての主体がそれぞれの役割を持って、共に連携・協働して推進することにより、洛西ニュータウンを訪れる人にとっても、住む人にとっても魅力的なまちとなることを目指します。

2 洛西ニュータウンアクションプログラム全体像

「洛西ニュータウンアクションプログラム」の全体像

I アクションプログラム策定の趣旨など

<洛西ニュータウンの概要>

- 事業手法 新住宅市街地開発事業
- 事業主体 京都市
- 入居開始 昭和51(1976)年9月
- 面積 260.7ha
- 計画戸数・人口 10,900戸・40,900人
- 建設戸数 10,869戸(市営2,725(25.1%) 府営799 UR3,052 分譲(高層)928 分譲(低層)・戸建3,365)
- 現世帯数・人口※1 9,919世帯・22,867人
- 現人口割合※2

15歳未満 10.5%(市11.6%), 65歳以上 25.0%(市22.4%)

※1 平成27年国勢調査 ※2 平成22年国勢調査

<洛西ニュータウンまちづくりビジョン(H18(2006).11)の概要>

目指すまちのすがた
「緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち」
洛西ニュータウンでは、美しい自然や風景、ゆとりのある緑豊かなまちを守り、育て、次世代に引き継いでいくとともに、各世代が互いに支えあい交流しながら心豊かに共生するまちを目指します。

まちづくりの目標

- 1 美しい風景や自然の豊かさを体感できるまち
- 2 豊かで自立した生活をすごせる住まい
- 3 みんなで守り育てるまち
- 4 便利で活気あふれるまち
- 5 みんなで支え合い心豊かにすごせるまち
- 6 元気に交流し魅力を発信するまち

<アクションプログラム策定の趣旨・計画期間>

- 洛西ニュータウンでは10年前に、少子高齢化等によるまちの活力低下を見据え、いち早く「まちづくりビジョン」が策定されました。これに基づき、様々な活動が行われてきましたが、現状において、人口減少・少子高齢化などの課題が顕在化してきており、改めて、まちの活性化を目指すため、社会状況の変化やこれまでの取組等を踏まえ(Ⅱ)、まちを次世代に引き継いでいくという「まちづくりビジョン」の理念を踏襲しつつ、取組の方向性を定め(Ⅲ)、今後喫緊に実施していくべき具体的な事業等(Ⅳ、Ⅴ)を取りまとめるものです。
- 地域住民・団体、事業者、行政等で組織された「洛西ニュータウンアクションプログラム検討会」が平成28年度末に策定
- 計画期間は平成29(2017)～32(2020)年度の4年間。
- 関連計画: 西京区基本計画(H23(2011)～32(2020)年度)、西京区・洛西地域の新たな活性化ビジョン(H28年12月) など

II 現状(課題・資源・社会状況の変化)

<課題>

- 市平均を上回る人口減少・少子高齢化の進行
- 若年層の流出等により、ニュータウン内の小中学校児童数の減少
- 住宅などの老朽化・空き家の増加
- 公園やサブセンターの魅力低下

等

<まちづくりの資源>

- 緑あふれ、計画的に利便施設が配置された住環境
- 大原野地域等の農業資源や観光資源等
- NPO法人などの地域・住民組織がまちづくり分野等で活動

等

<社会状況の変化>

- 京都第二外環状道路の開通
- 洛西口～桂駅間高架下プロジェクトの進捗
- 情報化社会の進展

等

<アクションプログラム検討の視点>

- このままでは、今後更に人口減少・少子高齢化傾向が強まることが想定される。
- 高齢化が進む中、まずは、住民が安心して暮らせて、みんなが生き生き活躍できるまちづくりが引き続き必要ではないか。
- 更には、ニュータウン外から、特に子育て・若者世代といった若年ファミリー層の呼び込み・定住促進を図ることが必要ではないか。
- そのためには、若い世代が訪れたいようなまちの魅力の充実とともに、働く場所の創出などに取り組み、合わせてその情報発信をしていくことが必要ではないか。

III 取組の方向性

アクションプログラムのキャッチフレーズ

来て・観て 住み続けたいくなるまち 洛西ニュータウン！

～訪れる人にも、住む人にとっても魅力的なまちを目指したアクション～

まちづくりビジョンにおける「目指すまちのすがた」を基本としつつ、**高齢者や障害者、子育て層等がより暮らしやすくなる取組を充実するとともに、特に若年ファミリー層の呼び込み・定住促進を実現する具体的な取組を進めます。**

住民が安心して住み続けるための取組

～子ども安心・健康長寿のまち～

住民の方々が安心して豊かに生活を送る、そして、いつまでも生き生きと活躍するための取組

基盤
(方針1)

サービス
(方針2)

2つの視点から展開する取組を両立・調和

↓

訪れる人にも住む人にも魅力的なまちを目指す

洛西ニュータウンに訪れたいくなる・住みたくするための取組

魅力向上による若年ファミリー層の呼び込み・定住促進と地域の魅力づくり・情報発信

魅力向上
(方針3)

情報発信
(方針4)

将来展望
(方針5)

次世代に引き継ぐことのできる洛西ニュータウンへ

IV 取り組んでいく方針・テーマなど

方針	テーマ	主なアクションプログラム・取組
<p>1 子育て・若者世代を始めとした各世代が住みやすいニュータウンの基盤づくり</p> <p>～誰もが住みたくする「子ども安心・健康長寿」のまちへ～</p>	<p>1 多様な主体による子育て・医療・福祉の機能の充実と連携促進</p> <p>2 洛西ニュータウン住宅流通促進システムの構築</p> <p>3 良好な住宅地景観・住環境を守るための地域活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援情報発信拠点の設置 ○ 市営住宅子育て向けリノベーション ○ 医療福祉拠点機能の誘致(UR協働) ○ 住宅流通促進の様々な取組
<p>2 生活・福祉など居住魅力を高めるサービスの向上</p> <p>～若年層の定住とまちの魅力向上に資する子育て環境の創出～ ～高齢者や障害者もみんなが生き生きと住みやすいまちづくり～ ～新しい「働くスタイル」の創出～</p>	<p>4 安心して子育てのできる子育て支援サービスの充実</p> <p>5 子ども運動・健やかに育つ環境づくりの機会創出</p> <p>6 子育て中のママ・パパが持つスキルを社会とつなげる仕組みづくり</p> <p>7 高齢者・障害者に住みやすいまちづくり、生きがいづくり</p> <p>8 高齢者を始め地域住民がニュータウン内で働ける機会・場づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高等教育・研究機関と小中学・高校との連携による教育プログラム提供 ○ 子育て支援団体等と子育てファミリーのマッチングイベント開催 ○ 様々なスキルを持つ子育て中のママや高齢者がNT内で働ける場・仕組みづくり ○ 高齢者・障害者の地域での生活を支える情報発信など
<p>3 洛西ニュータウンの魅力充実と交流人口の呼び込み</p> <p>～小畑川を始めとして、水・緑・まちの魅力充実～</p>	<p>9 洛西ニュータウンや周辺地域の魅力を活かした交流拠点機能の充実</p> <p>10 緑豊かな公園の再生と新たな魅力創生による憩い・遊びの空間づくり</p> <p>11 生物多様性に配慮したまちづくり</p> <p>12 サブセンターの有効活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊機能(ホテル)の誘致 ○ ニュータウン内の新たな夜の賑わいづくり ○ 小畑川公園等再整備・竹林公園(仮称)子どもの楽園整備・プレイパーク事業 ○ 阪急高架下Pと連携したNTへの交流人口呼び込みの取組
<p>4 イメージ戦略も含めた仕掛けづくりと多様なメディアによるニュータウン情報の発信</p> <p>～訴求力の高い情報発信による洛西NTブランドのマネジメント～</p>	<p>13 魅力があり住みよいまち、洛西ニュータウンのイメージ戦略</p> <p>14 ポータルサイトやまちづくり通信などによる情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洛西ニュータウンのブランド化戦略 ○ 洛西ニュータウンの周辺地域とも連携した魅力情報発信
<p>5 洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討</p>	<p>15 洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討</p>	<p>【将来のための更なる取組の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童数・生徒数減少への対応と小中一貫教育の推進や先進的な学校づくりの検討 ○ 新公共交通システムの検討 ○ 市営住宅団地再生の検討 ○ 住まいの近くで働ける場づくりの検討

V 推進体制

みんなで推進するアクションプログラム

一人ひとりの住民

地域団体
住民組織

洛西NTアクションプログラムの推進

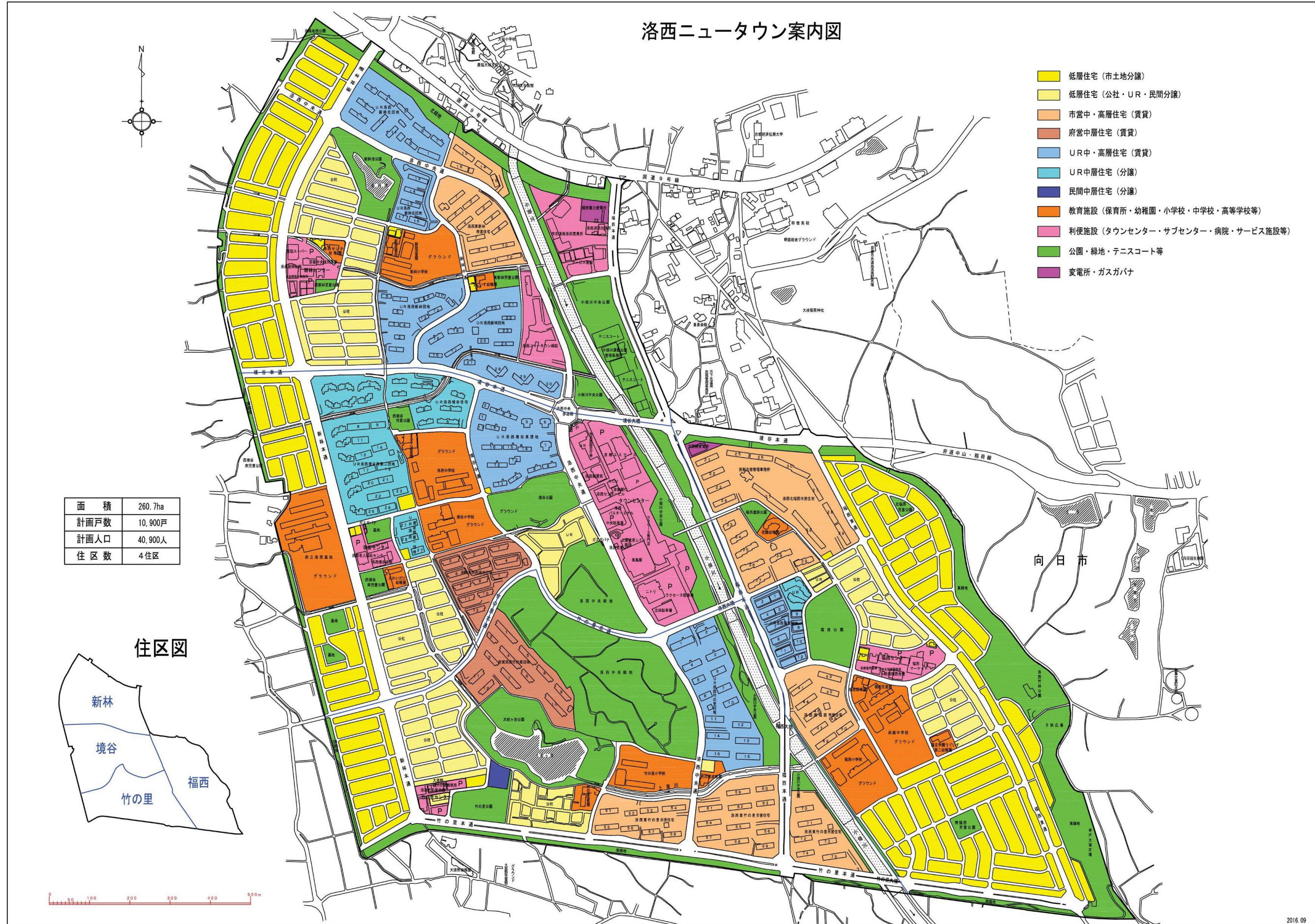
事業者
教育機関

行政

一人ひとりの住民の皆様や地域団体、住民組織の皆様、地域に立地する事業者、教育機関、行政など、洛西ニュータウンに関わる全ての主体がそれぞれの役割を持って、共に連携・協働して取り組むものです。

- 1 アクションプログラムの進行管理等を行う「**推進会議(仮称)**」の設立
アクションプログラムの進行管理等を行うための、行政と地域の団体や事業者等が参加する「推進会議(仮称)」を設立します。
- 2 アクションプログラム推進のための**住民主体の取組の支援**
地域主体の取組の初期期や活動のステップアップを支援する助成制度を創設します。
- 3 アクションプログラムの各事業の実施をサポートする**まちづくり組織(まちづくり会社)**の設立
各種の事業を実施するために必要な人的サポートや団体間のコーディネートなどを行う組織の設立を検討します。

3 洛西ニュータウンの概要



◆洛西ニュータウン沿革

【団地の概要】

洛西ニュータウンは、京都市が施行する新都市として昭和44年（1969年）に都市計画決定され、昭和51年（1976年）に入居が始まりました。

- 事業手法：新住宅市街地開発事業
- 面積：260.7ha
- 計画戸数・人口：10,900戸・40,900人
- 建設戸数：10,869戸（市営2,725戸（25.1%） 府営799戸 UR3,052戸 分譲（高層）928戸 分譲（低層）・戸建3,365戸）

○開発の経緯

昭和51（1976）年	入居第1号（公団，第1期分譲地）
昭和52（1977）年	新林小学校開校
昭和53（1978）年	樫原中学校西分校（現洛西中）開校
昭和54（1979）年	ニュータウン区域内全道路交通開放
昭和55（1980）年	境谷小学校開校
昭和56（1981）年	福西小学校開校 洛西竹林公園オープン
昭和57（1982）年	竹の里小学校開校 ラクセーナオープン
昭和62（1987）年	洛西総合庁舎開設 公団，洛西センタープラザ入居により事業完了
平成18（2006）年	洛西ニュータウンまちづくりビジョン策定
平成19（2007）年	大原野西竹の里町テラスハウス地区地区計画策定 京都市新景観政策実施（洛西ニュータウンでダウンゾーニング（高さ20m→15m，容積率300%→200%：容積率規制強化は洛西ニュータウンのみ）が実施された。）
平成21（2009）年	地区計画決定告示（タウンセンター地区全域）

○現世帯数・人口（※1）：9,919世帯・22,867人

割合（※2）：15歳未満10.5%（市11.6%），65歳以上25.0%（市22.4%）

※1 平成27年国勢調査 ※2 平成22年国勢調査

○特徴

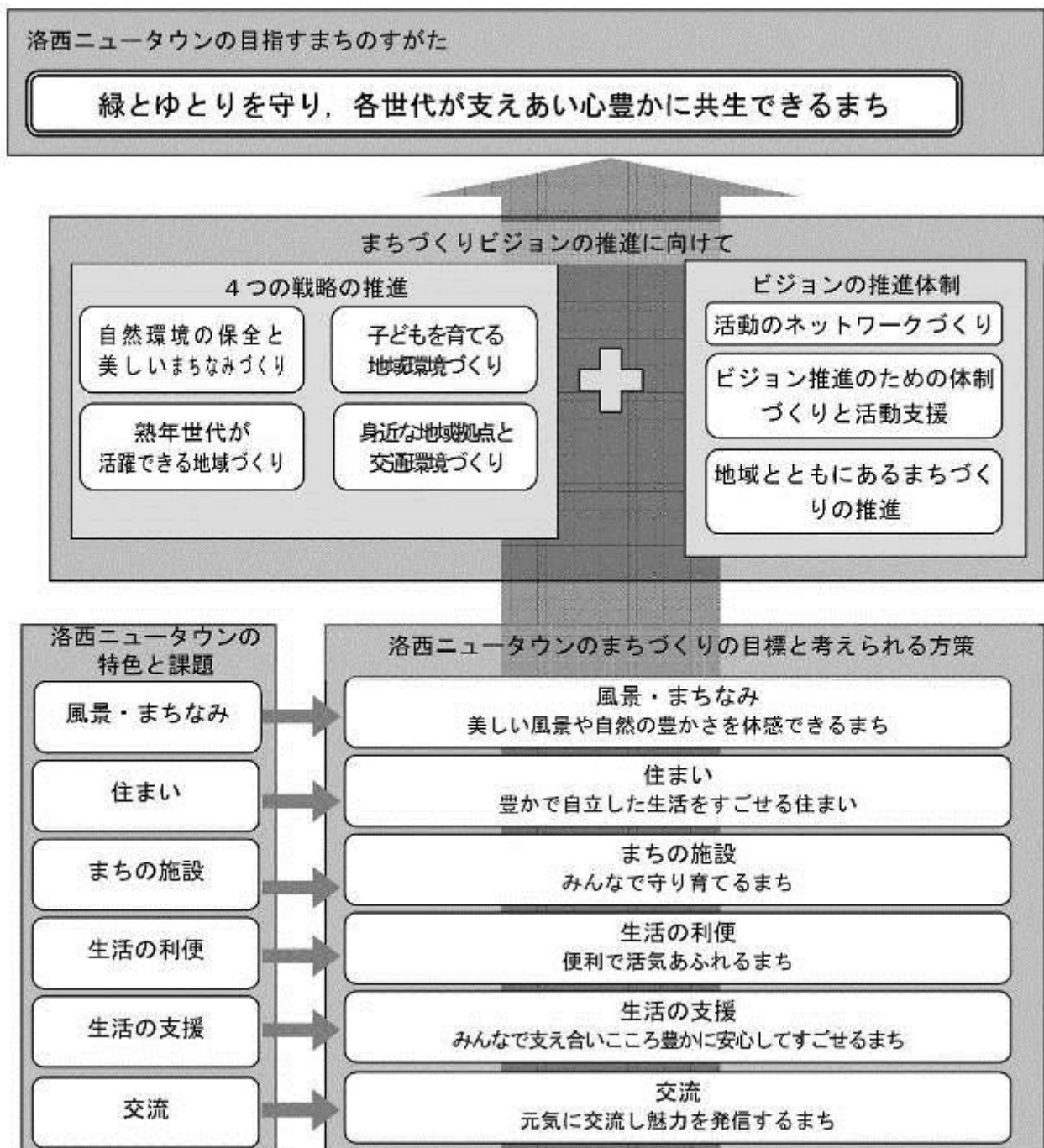
- ・道路や公園・緑地などの都市基盤が整備されています。
- ・市営住宅，UR都市機構団地のほか，分譲住宅（中低層）が立地しています。
- ・小学校，中学校のほか，保育園，幼稚園，児童館といった教育・福祉施設や図書館等の公共施設が総合的に整備されています。
- ・ニュータウン中央部には，南北に小畑川が流れ，市民の憩いの場として親しまれています。
- ・周辺には，京都大学桂キャンパスや，京都市立芸術大学，京都経済短期大学が立地しています。

4 洛西ニュータウンまちづくりビジョン（平成18年11月策定）について

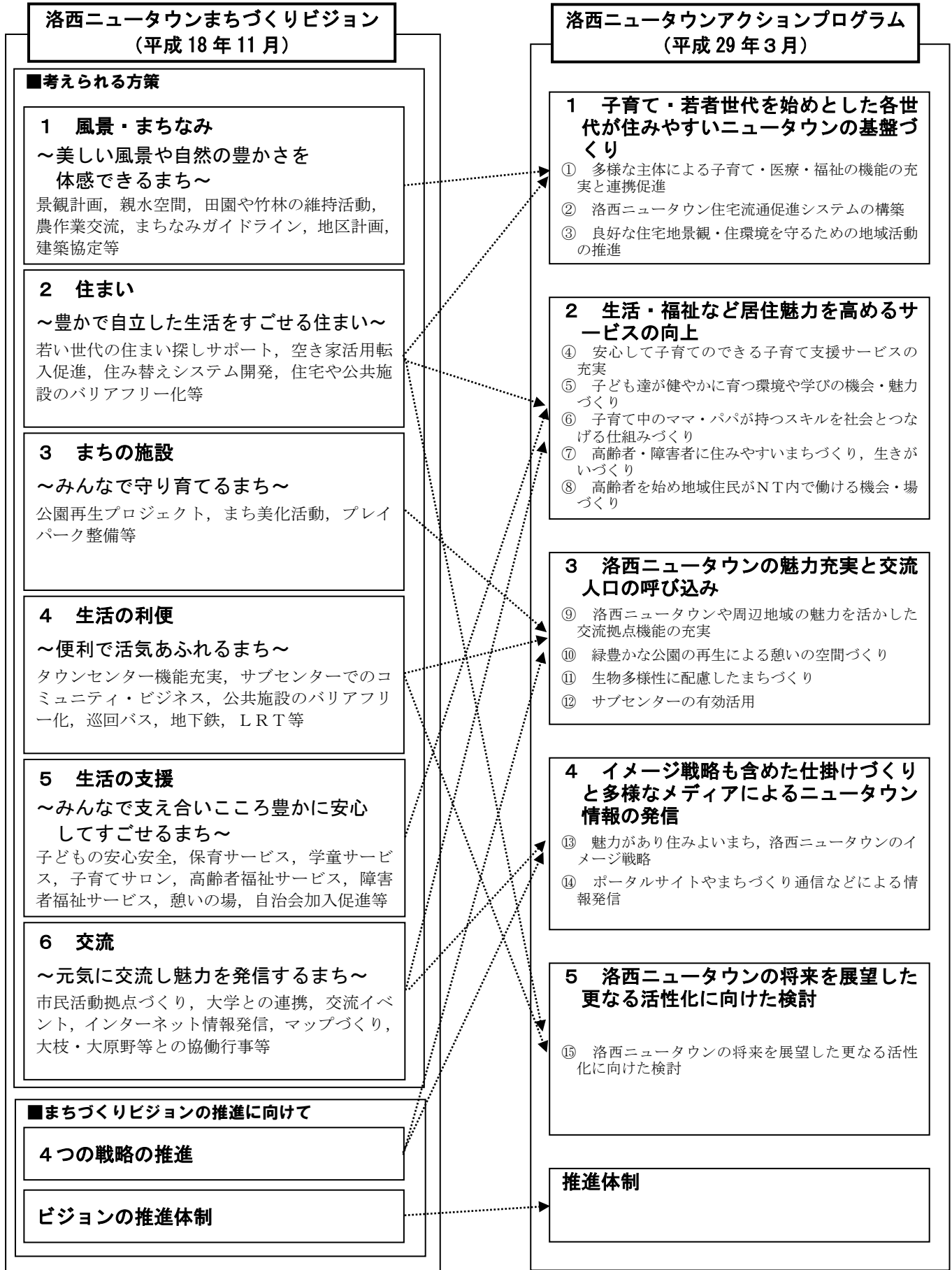
洛西ニュータウンまちづくりビジョンは、平成18年11月に、洛西ニュータウンまちづくり検討会により、今後向かうべきまちの目標像や、その実現に向けて地域住民、地域に関わっている各種事業者及び行政等が協働して取り組む必要のある課題、6つの目標と方策などをとりまとめ、策定されたものです。

まちづくりビジョンの推進に向けて、「緑とゆとりの保全」や「世代間の支え合いと共生」を先導し、少子化・高齢化やコミュニティの希薄化の対応にも結びつく4つの戦略が掲げられています。

■洛西ニュータウンまちづくりビジョンの構成



洛西ニュータウンまちづくりビジョンとアクションプログラムの関係



5 現状（課題・資源・社会状況の変化）

■人口減少・少子高齢化が進展しています。

- 洛西ニュータウンの人口は減少傾向をつづけており、平成7年から平成27年の間に約33%減少しています。また、微増していた世帯数も減少傾向に転じています。
- 年齢構成別の人口の推移を見ると顕著に少子高齢化が進んでおり、平成7年から平成27年の間に高齢者人口は約4倍に増加し、年少人口は約3割に減少しています。
- 京都市全体の傾向と比較してみると、洛西ニュータウンでは60歳～70歳代の人口が多く、40歳代以下の人口が少ない傾向が見られます。
- また、少子化に伴い、ニュータウン内の4つの小学校の児童数は減少してきており、竹の里小学校ではピーク時の12%に、福西小学校では13%、境谷小学校では17%と2割を下回っています。新林小学校ではピーク時の28%となっています。

図 洛西ニュータウンの人口・世帯数の推移

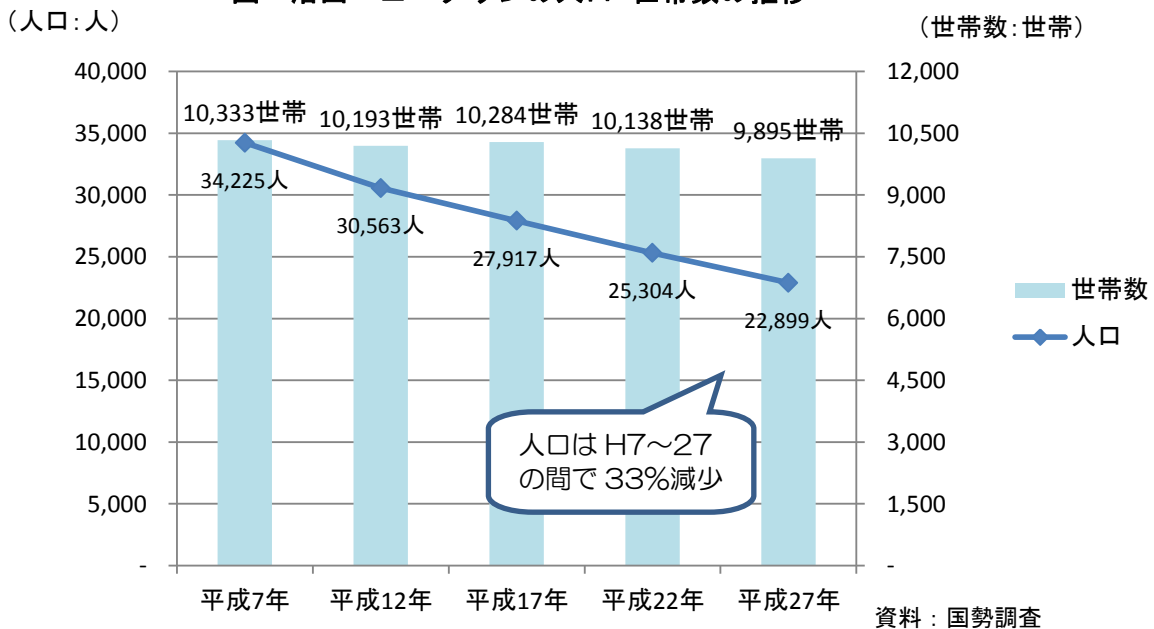


図 洛西ニュータウンの人口の年齢3区分ごとの人口の推移

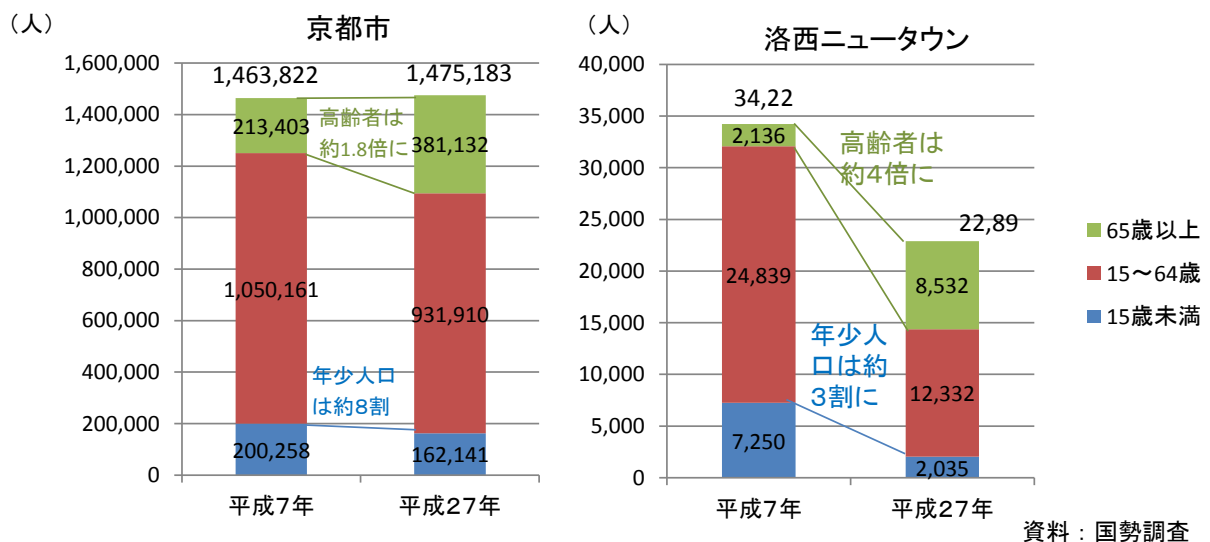
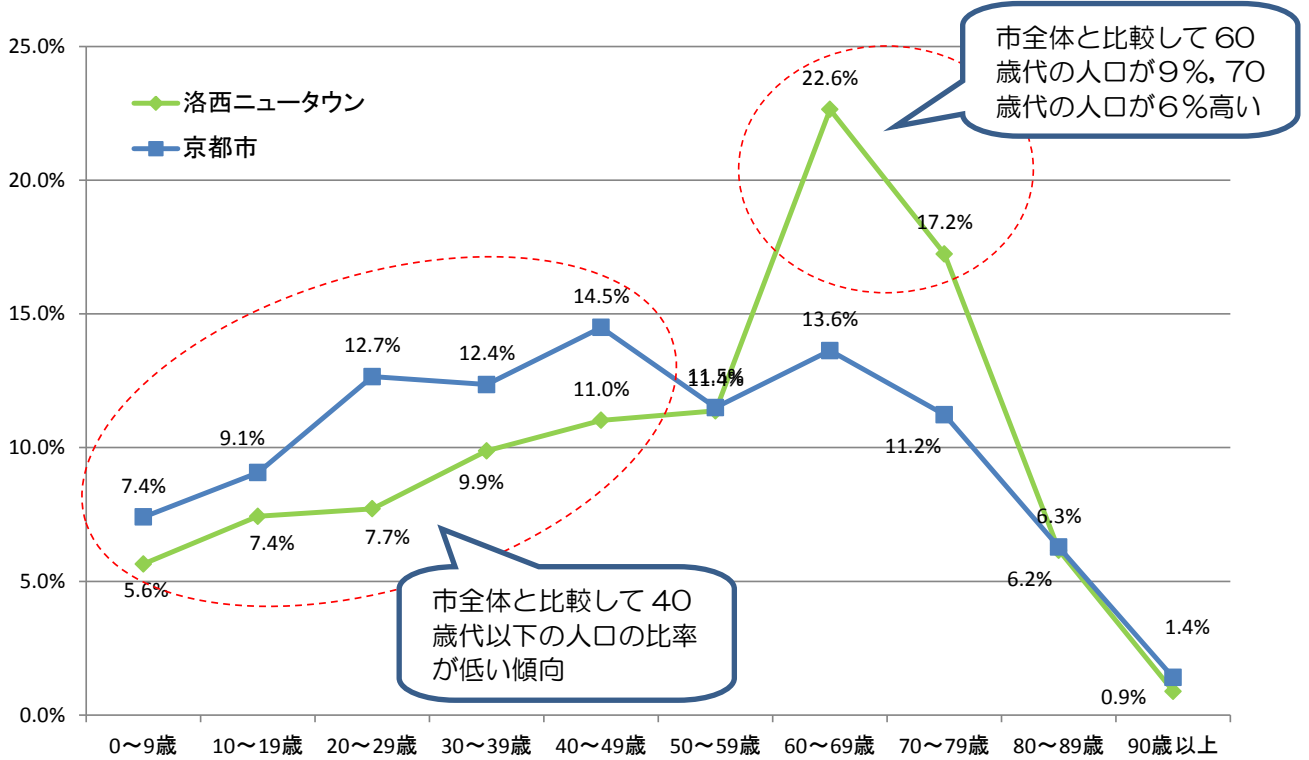
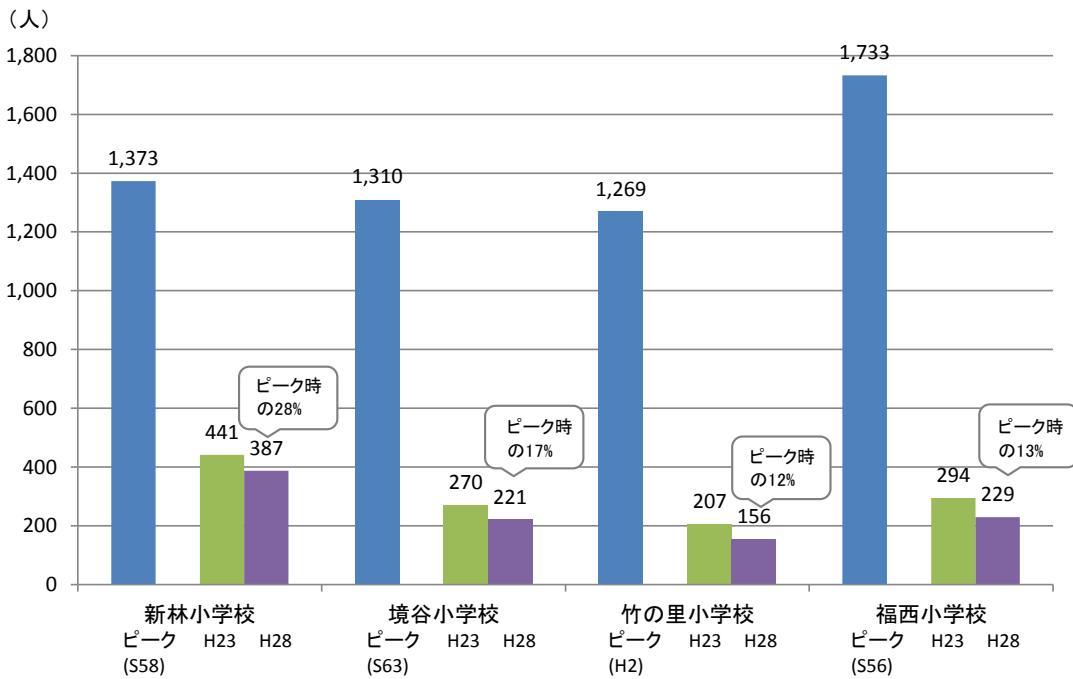


図 洛西ニュータウンの人口の年齢10歳階級ごとの人口の推移(京都市全体との比較)



資料：平成27年国勢調査（年齢不詳は除く）

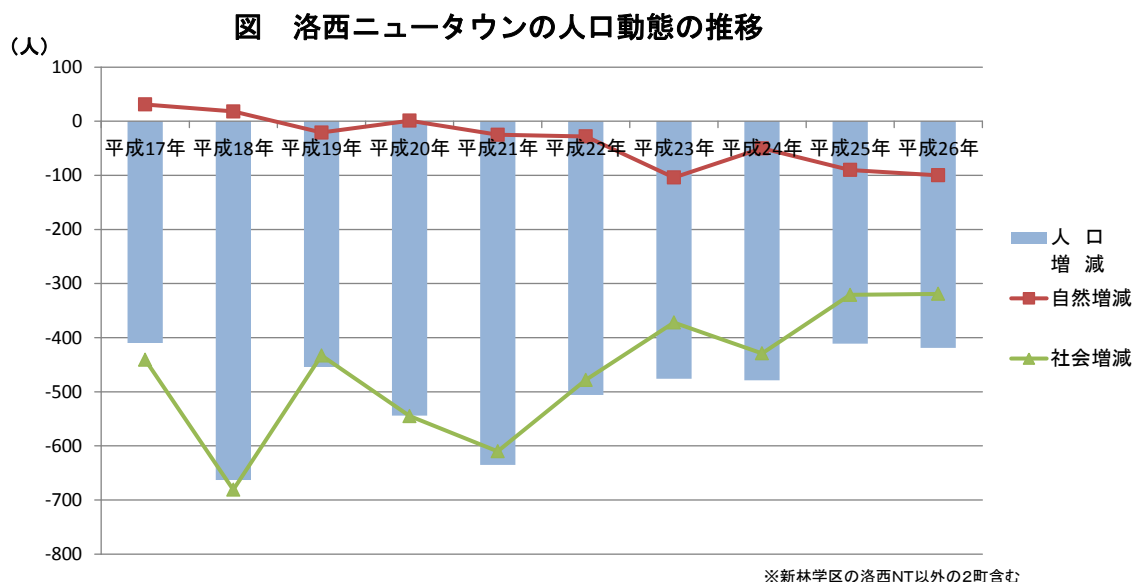
図 洛西ニュータウンの小学校の児童数の推移



資料：教育調査統計（京都市教育委員会 各年5月データ）

■今後さらに人口減少が進むことが想定されます。

○高齢化に伴い死亡数が増加することで、洛西ニュータウンの人口は自然減の傾向が徐々に強まっています。少子化の傾向及び社会減の傾向が継続していることも相まって、このままでは今後さらに人口の減少傾向が強まることが想定されます。



■賃貸住宅の老朽化が進んできています。

○賃貸住宅（市営住宅・府営住宅・UR賃貸住宅）の老朽化が一斉に進んでおり、空き家の増加の一因になっています。また、市営住宅においては、建設当時の仕様が現在にも引き継がれており、現代的な暮らしにマッチしていないことも課題となっています。

表 洛西ニュータウンの賃貸住宅の空き家の状況（平成27年4月現在）

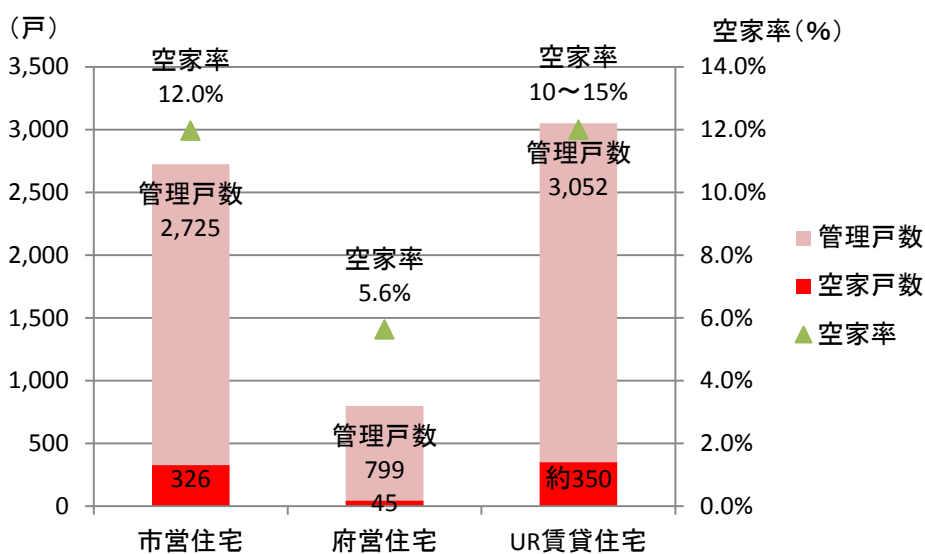


表 洛西ニュータウンにおける市営住宅ストックの状況(平成 28 年 4 月現在)

- ・全 2,725 戸のうち、240 戸を除き、全住戸が築 34 年を経過 (S51～S56 竣工)
- ・全 69 棟のうち、高層 3 棟を除き、階段室型 E V 無し 4,5 階建
- ・浴室の仕様について、全 2,725 戸とも「シャワー無し風呂釜 (給湯器無し) , 跨ぎ高 60cm 以上の浴槽, 1 枚内開き戸」
- ・現状, 空き家整備時にリニューアル等を行わず, 竣工当時の仕様に復旧している。
(平成 28 年度には, 大学生の若い感性や発想を取り入れながら, 「親にとって子育てしやすく, 子どもにとっても暮らしやすい住宅」などをテーマに, 市営住宅 40 戸について子育てしやすい間取りや設備等にリノベーションを行っている。)

■公園やサブセンターの老朽化が進み魅力が低下してきています。

- サブセンターは, ニュータウン住民の日常的な買い物や会合等の場として活用されてきていましたが, キーテナントとして入居していたスーパーが撤退したサブセンターもあり日常の買い物の利便性が低下しています。また, 会館の利用率も低く, 会合だけではなく新たな活用方法を検討することが求められています。
- 一方で, サブセンターにおいては, 介護福祉関連の事業所や高齢者の生活支援を行う NPO の活動拠点など, 高齢化の進展に伴ってサブセンターの新たな機能の立地が進んできています。
- 洛西ニュータウンは計画的に整備された住宅地として, 公園や緑地は充実していますが, まちびらきから 40 年あまりが経過してくる中で, 施設の老朽化等が進んできており, 利用者にとって魅力が低下してきています。



新林サブセンター



境谷サブセンター



福西サブセンター



竹の里サブセンター



小畑川中央公園



新林池公園



境谷公園



福西公園



竹の里公園



大蛇が池公園



竹林公園



竹林公園（子どもの広場）

■事業者の積極的な取組が進められているとともに、住民の方々が中心となった様々なまちづくり活動が始まっています。

- まちづくりビジョンが平成18年に策定された後、この10年の間に、ニュータウン内における住民主体のまちづくり活動が活発に進められるなど、様々な地域団体（NPO法人を含む。）が育ってきています。
- その他、地域内の事業者の方々も取組を進められ、例えばUR都市機構は住戸リノベーションや住宅供給公社は積極的な店舗誘致など、また、京都市や京都府も子育て向けリノベーションなどの子育て世帯向けの公営住宅供給にも取り組まれてきています。
- 一方、洛西ニュータウンに隣接する大原野地域においては、農業振興地域が広がっており、農産物のブランド化や地域資源を活用した観光振興の取組が進められてきています。

事例：洛西ニュータウンの様々なまちづくりを担うNPOの取組

(特)らくさいライフスタイルや(特)洛西福祉ネットワークなど、洛西ニュータウンにおけるにぎわいづくりや高齢者等の見守りシステムづくり、居場所づくりなどの活動を展開している様々な市民活動が活発に行われています。

らくさいライフスタイルによる「洛西マルシェ」「コワーキングスペース」等の取組

- ・タウンセンターの新たな魅力創造に向けて、コワーキングスペースらくさいの運営や、洛西マルシェの開催など、賑わいの形成や人づくりの推進など、様々な活動に取り組んでいる。



洛西福祉ネットワークによる

「わくわくサロン」の取組

- ・高齢者の居場所としてカフェの運営や生活を支援する家事援助サービス、竹の里わくわくマルシェなどに取り組んでいる。



事例：UR都市機構による洛西ニュータウンにおける取組

UR都市機構では、「子育て世代を応援する街」として、洛西ニュータウンにおいて、様々な取組を行っています。



(取組例)

- 京都女子大学の学生提案によるリノベーションプロジェクトの実施
- 子育て世帯に対する家賃の減額（最大6年間、20%割引（減額上限 25,000 円））など

■洛西ニュータウンを取り巻く社会状況に変化が現れてきています。

- 平成25年には京都第二外環状道路（通称にそと）が開通し、洛西地域と名神高速道路や京都縦貫自動車道と接続し、大阪方面や丹波・丹後方面、北陸・東海方面へのアクセスが飛躍的に高まりました。
- 平成15年には阪急洛西口駅が、平成20年にはJR桂川駅が開業し、これらの駅周辺には大型ショッピングモールやマンション等の立地が進んでいます。また、洛西口駅から桂駅間の鉄道高架化に伴い、高架下の活用プロジェクトの検討が進んでおり、洛西ニュータウンのまちづくりや大原野の地域ブランド戦略との連携が期待されています。



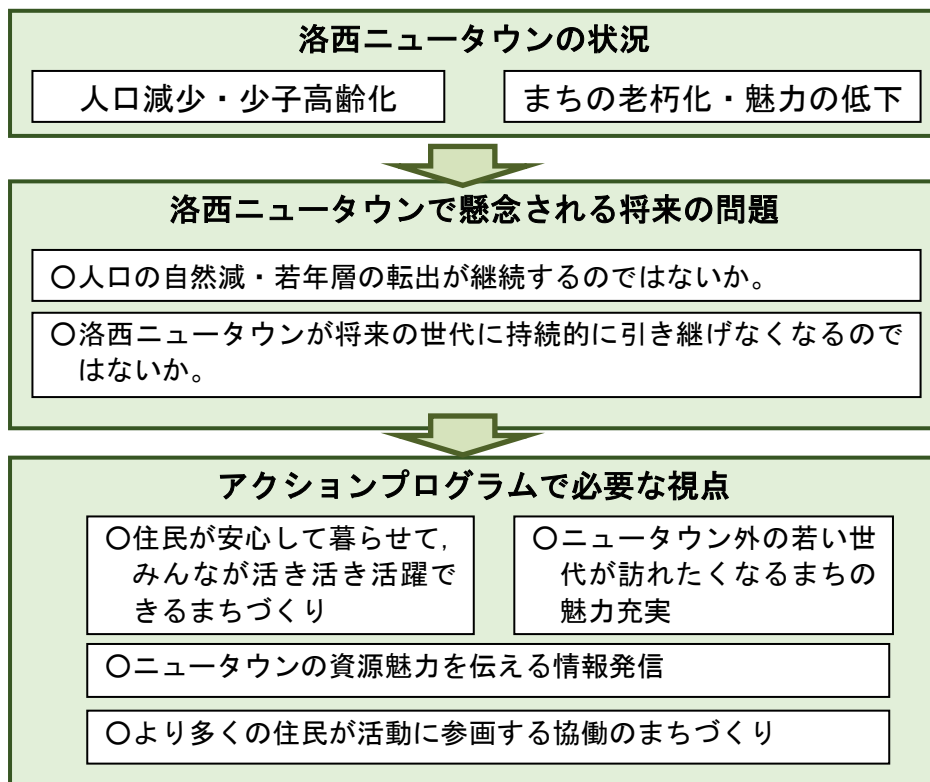
第二外環状道路



洛西口～桂 駅間プロジェクト イメージ

【これらの現状を踏まえた、アクションプログラム検討の視点】

- ・洛西ニュータウンの人口動向を見ると、人口の自然減、若年層の転出による社会減がさらに進むことにより、今後さらに少子高齢化が極端に進むことが想定され、将来の世代に対して洛西ニュータウンの優れた住環境を引き継いでいくことが困難になってきます。
- ・また、まち開きから40年が経過し、様々な施設の老朽化が進むとともに、住宅地としての魅力低下が懸念されています。
- ・このような人口減少・少子高齢化やまちの老朽化が進む中、まずは、住民が安心して暮らせて、みんなが生き生き活躍できるまちづくりが必要です。
- ・また、ニュータウン外から、子育て・若者世代を呼び込み、定住促進を図らなければ、洛西ニュータウンを引き継いでいくべき次世代が地域内にいないということになりかねません。
- ・そのため、洛西ニュータウンアクションプログラムを検討するにあたっては、住民が安心して暮らすことのできる、ハード面での再整備やソフト面での仕組みづくりに取り組むとともに、ニュータウン外の若い世代が訪れたいくなるようなまちの魅力も充実させる視点が必要です。
- ・更に、ニュータウン住民やニュータウン外の若い世代にまちの資源・魅力を伝えていくために積極的な情報発信が必要であるとともに、これまで以上に、まちの魅力を高める活動に住民自ら参画する気運を盛り上げ、協働のまちづくりを目指す必要があります。



6 取組の方向性

洛西ニュータウンアクションプログラムを検討するにあたっては、まちづくりビジョンにおける「目指すまちのすがた」を基本としつつ、依然として人口減少・少子高齢化が進む洛西ニュータウンの状況を踏まえ、このまちを次世代に引き継いでいくためには、高齢者や障害者、子育て層等の生活支援に取り組むとともに、特に若年ファミリー層の呼び込み・定住促進を実現する具体的な取組が必要であると考えました。

そのために、洛西ニュータウンに暮らしている住民の方々が、これからも安心して住み続けられるための取組（子ども安心・健康長寿のまちへ）を進めるとともに、まちの魅力を向上する取組を進めつつ、その魅力情報を発信する取組を平行して進めることにより、ニュータウン外から訪れる人を増やし、住んでもらうためのきっかけを増やすことを重視したアクションプログラムとするために、以下のように、取組の方向性を表すキャッチフレーズを掲げました。

【まちづくりビジョンにおける洛西ニュータウンの目指すまちのすがた（平成18年11月）】

緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち

洛西ニュータウンでは、美しい自然や風景、ゆとりのある緑豊かなまちを守り、育て、次世代に引き継いでいくとともに、各世代がお互いに支えあい交流しながら心豊かに共生するまちを目指します。



アクションプログラムのキャッチフレーズ 来て・観て 住み続けたくなるまち 洛西ニュータウン！

～訪れる人にも、住む人にとっても魅力的なまちを目指したアクション～

まちづくりビジョンにおける「目指すまちのすがた」を基本としつつ、高齢者や障害者、子育て層等がより暮らしやすくなる取組を充実するとともに、特に若年ファミリー層の呼び込み・定住促進を実現する具体的な取組を進めます。

住民が安心して住み続けるための取組
～子ども安心・健康長寿のまち～

住民の方々が安心して豊かに生活を送る、そして、いつまでも生き活きと活躍するための取組

基盤
(方針1)

サービス
(方針2)

2つの視点から
展開する取組を
両立・調和

↓
訪れる人にも住
む人にも魅力的
なまちを目指す

洛西ニュータウンに訪れたくなる・
住みたくなるための取組

魅力向上による若年ファミリー層の呼び込み・定住促進と地域の魅力づくり・情報発信

魅力向上
(方針3)

情報発信
(方針4)

将来展望
(方針5)

次世代に引き継ぐことのできる洛西ニュータウンへ

7 方針・テーマ・アクションプログラム

まちづくりの方向性に基づき、以下のようなテーマとアクションを設定し、各アクションプログラムや具体的な取組を位置づけています。

方針	テーマ	アクションプログラム・具体的な取組
1 子育て・若者世代を始めとした各世代が住みやすいニュータウンの基盤づくり ～誰もが住みたくなる「子ども安心・健康長寿」のまちへ～	1 多様な主体による子育て・医療・福祉の機能の充実と連携促進 2 洛西ニュータウン住宅流通促進システムの構築 3 良好な住宅地景観・住環境を守るための地域活動の推進	
2 生活・福祉など居住魅力を高めるサービスの向上 ～若年層の定住とまちの魅力向上に資する子育て環境の創出～ ～高齢者や障害者もみんなが活き活きと住みやすいまちづくり～ ～新しい「働くスタイル」の創出～	4 安心して子育てのできる子育て支援サービスの充実 5 子ども達が健やかに育つ環境や学びの機会・魅力づくり 6 子育て中のママ・パパが持つスキルを社会とつなげる仕組みづくり 7 高齢者・障害者に住みやすいまちづくり，生きがいづくり 8 高齢者を始め地域住民がニュータウン内で働ける機会・場づくり	
3 洛西ニュータウンの魅力充実と交流人口の呼び込み ～小畑川を始めとして，水・緑・まちの魅力充実～	9 洛西ニュータウンや周辺地域の魅力を活かした交流拠点機能の充実 10 緑豊かな公園の再生と新たな魅力創生による遊び・憩いの空間づくり 11 生物多様性に配慮したまちづくり 12 サブセンターの有効活用	
4 イメージ戦略も含めた仕掛けづくりと多様なメディアによるニュータウン情報の発信 ～訴求力の高い情報発信による洛西ニュータウンブランドのマネジメント～	13 魅力があり住みよいまち，洛西ニュータウンのイメージ戦略 14 ポータルサイトやまちづくり通信などによる情報発信	
5 洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討	15 洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討	

みんなで推進するアクションプログラム



一人ひとりの住民の皆様や地域団体，住民組織の皆様，地域に立地する事業者，教育機関，行政など，洛西ニュータウンに関わる全ての主体がそれぞれの役割を持って，共に連携・協働して取り組むものです。

方針 1

子育て・若者世代を始めとした各世代が住みやすいニュータウンの 基盤づくり

～誰もが住みたくなる「子ども安心・健康長寿」のまちへ～

洛西ニュータウンでは、急速に少子高齢化が進み、人口の減少傾向が強くなってきています。将来にわたって、洛西ニュータウンが住みよいまちであり続けるためには、子育て世代、若者世代を始めとする世帯の転入促進を図ることが重要です。

そのために、子育て世代等にとって魅力的な住宅や生活の環境を確保するとともに、高齢期になっても安心して住み続けることのできる住環境も確保することで、「住みたくなるまち」を実現します。

テーマ 1

多様な主体による子育て・医療・福祉の機能の充実と連携促進

高齢者の安心生活の実現

子育てしやすいまちの実現

住宅の充実

安心して住み続けることのできる住宅

子育てしやすい住宅

+

相談機能の充実

交流機能の充実

生活支援機能の充実

洛西ニュータウンを「子育てしやすいまち」として、また、医療・福祉が整った「安心して住み続けられるまち」として、多様な主体が連携することにより、既存の社会資源や人的資源を活用した「機能」や「サービス」がまち全体として充実することを目指します。



具体的には、「安心して住み続けることのできる住宅」「子育てしやすい住宅」など「住宅」の充実を図るとともに、子育てや介護など多様な世代の生活課題に対応できる「相談機能」「交流機能」「生活支援機能」を整えます。

★アクションプログラム★

※ それぞれのアクションプログラムを実行するための具体的な取組や検討内容を(1)～(80)まで記載しています。

プログラム1 子育てしやすい住宅の整備

①市営住宅子育て向けリノベーション

- ・市営住宅の子育て向けリノベーションの継続充実

②公営住宅における子育て世帯向け住宅の供給

- ・府営住宅における子育て世帯向けの優先入居、市営住宅における子育て世帯向けの期限付き入居（リノベーション住戸対象）の募集の実施
- ・京都府と京都市の連携による子育て対応住戸の公募を共同で実施

③UR賃貸住宅のリノベーション

- ・大学等とのコラボレーションによるUR賃貸住宅リノベーションの実施

【実施主体候補】

京都市，京都府，UR都市機構，大学

プログラム2 安心して住み続けることのできる住宅の整備

④高齢者が住みやすい住宅の導入の検討

- ・UR賃貸住宅において，高齢者医療福祉機能の誘致・充実を図ると同時に，高齢者が住みやすい住宅の導入を検討

⑤市営住宅一般住戸の空き家整備時等における仕様改善の検討

- ・市営住宅一般住戸の空き家整備時等において，高齢者もより住みやすい住戸となるよう，浴室設備などの仕様改善を検討

【実施主体候補】

UR都市機構，京都市

プログラム3 洛西ニュータウンの子育て・医療・高齢者福祉の機能充実に向けた連携推進

⑥子育て環境，医療，高齢者福祉の充実化に向けた連携推進

- ・洛西ニュータウンにおいて，子育て環境の充実や，医療，高齢者福祉の充実化をまち全体として推進する方向性を位置づけ，関係するNPOや住民団体，事業者，大学，行政による連携を推進

【実施主体候補】

福祉系NPO（高齢者支援，子育て支援）等，社会福祉法人，医療機関，大学，UR都市機構，京都市住宅供給公社，京都市

プログラム4 子育て支援情報発信拠点の設置

⑦子育て支援情報の発信拠点の設置

- ・支援を必要としている子育て中の親等に，子育て支援活動団体の情報をわかりやすく入手しやすくするための情報発信ができるともに，団体間の交流の場ともなる情報発信拠点の設置

【実施主体候補】

京都市，子育て支援団体

プログラム5 高齢者医療福祉機能の誘致・充実

⑧医療福祉機能の誘致

- ・高齢者が安心して暮らすことのできる生活環境の確保を目指し、タウンセンター・サブセンター等への高齢者医療福祉機能誘致・充実

【実施主体候補】

社会福祉法人・医療法人等、
UR都市機構、京都市、京都市住宅供給公社

⑨生活支援サービスの提供体制の整備

- ・医療機関・福祉施設等との連携による、安心して住み続けることのできる生活支援サービスの提供体制の整備

プログラム6 多世代交流機能の充実

⑩UR賃貸住宅における多世代交流活動の実施

- ・多世代が交流し、支え合うことができる生活環境の確保を目指し、大学等との連携によるURのコミュニティミックス（※）活動の実施

※ 一定の日常生活圏において、多様な世代の人々が居住・交流する状況のこと。

【実施主体候補】

地域団体、大学、UR都市機構、京都市

⑪市営住宅における多世代交流の場づくりの推進

- ・大学等との連携による市営住宅における多世代交流の場づくりの推進

テーマ2

洛西ニュータウン住宅流通促進システムの構築

手頃で質の高い中古住宅を購入してリノベーションしたい

一戸建ての住宅を賃貸して住みたい。



安心して中古住宅や賃貸住宅を選ぶことができる。

高齢者が自分のライフプランに即してスムーズに安心して住み替えができる仕組み

住みかえに関する相談機能の強化

(ライフプランを立ててお金や住宅に関する相談ができる)



住みかえを支援してくれるコミュニティビジネス

(引越や家財道具の整理をお手伝い)

安心して住み続けることのできる住宅の整備

中古住宅を安心して購入・賃貸できる仕組み

移住住みかえ支援機構によるマイホーム借り上げ制度の利用促進

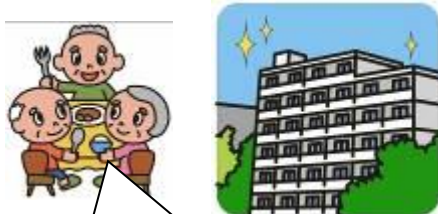
建物が適正に評価される制度(インスペクション)の普及

建物の情報が客観的に共有できる仕組み(住宅ファイル制度)の利用促進



自分の人生設計や暮らし方にあわせた住みかえ先を考えることができる

スムーズに自宅の資産活用ができる。



利便性の高い集合住宅などに引っ越したい。



洛西ニュータウンの中で安心して暮らすことのできる高齢者向け住宅に住みかえたい



自宅を資産として活用して老後の住み替えや生活資金としたい。

中古住宅を受け皿とした若年層の定住促進や、高齢者が自らのニーズに合わせ、より安心して居住できる住まい等へのスムーズな住み替えを実現するために、洛西ニュータウンの大きな魅力の一つである良質な住宅ストックを最大限に活用するための仕組みとして「洛西ニュータウン住宅流通促進システム」を構築します。

洛西ニュータウン住宅流通促進システムの仕組みとして、中古住宅の客観的で透明性のある評価を得るための仕組みの導入を進めます。

また、高齢者等が住み替えを検討するに当たって、生活資金の確保なども含め、スムーズに住み替えを検討することができるような相談機能の充実や、住宅資産を賃貸化することで老後の生活資金の確保ができる仕組みの導入促進などに取り組めます。

★アクションプログラム★

プログラム7 洛西ニュータウン住宅流通促進システムの構築に向けた事業者等の連携

(12) 住宅取引に関連する事業者等が連携する協議体の設置

- ・洛西ニュータウン住宅流通促進システムの構築に向けた、住宅の取引等に関連する事業者等の連携による協議体の設置

【実施主体候補】

不動産事業者（京都市地域の空き家相談員）、ファイナンシャルプランナー、建築士、金融機関、J T I（移住住み替え支援機構）、UR都市機構、京都市、地域団体

プログラム8 安心して住み替えができる相談機能の設置・充実化

(13) 住み替えに関する相談機能の強化

- ・健康や介護、生きがいづくりなどに関する既存の相談機会を活用し、住み替えを検討している人のライフプランをお金や住宅・暮らしの観点から相談ができるよう、ファイナンシャルプランナーや不動産事業者などとも連携して、住み替えに必要な情報共有の推進による相談機能の充実化
- ・「住み替えアドバイザー」による耐震改修等の支援制度の情報提供の推進

【実施主体候補】

不動産事業者（京都市地域の空き家相談員）、ファイナンシャルプランナー、京都市、地域団体

プログラム9 中古住宅の客観的で透明性のある評価手法の導入

(14) 住宅ファイル制度・インスペクション制度の推進

- ・住宅の施工や改修履歴の情報をストックする「住宅ファイル制度」や、住宅の劣化状況や欠陥の有無、改修すべき箇所やその時期を調査・評価する「インスペクション」の仕組みを提供する事業を民間事業者の取組による導入・推進

(15) 中古住宅の適切な評価を反映できる金融商品の開発

- ・インスペクションによる評価に基づく、住宅の査定や金融商品の開発

【実施主体候補】

近畿不動産活性協議会、不動産事業者、建築士、金融機関、京都市住宅供給公社



プログラム10 移住住み替え支援機構(JTI)によるマイホーム借り上げ制度の利用促進

(16) JTI 協賛事業者の登録促進

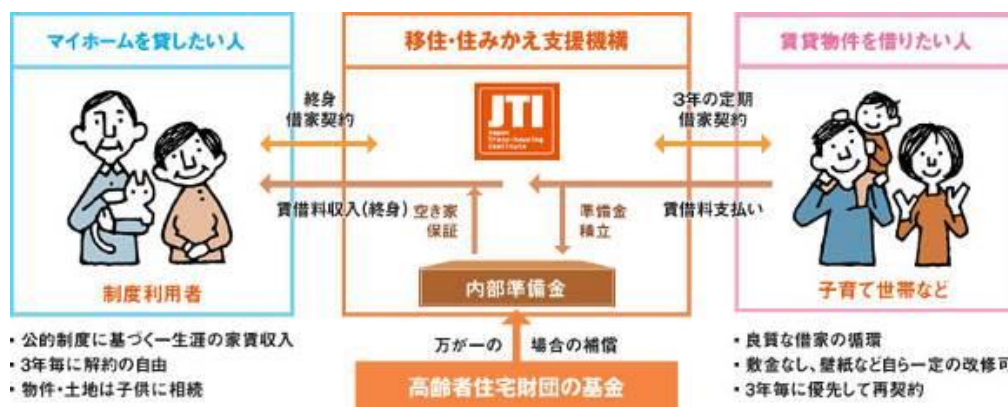
- ・ JTI 協賛事業者の登録促進に向けた京都市による支援制度の利用促進

【実施主体候補】

J T I (移住住み替え支援機構), J T I 協賛事業者, 京都市, 地域団体

(17) 住み替えセミナーの開催

- ・ JTI 協賛事業者などの民間事業者と京都市の連携による, 住み替えセミナーの開催
参考: JTI によるマイホーム借り上げ制度のイメージ (JTI ホームページより)



プログラム11 住み替えを支援するためのコミュニティビジネスの立ち上げ

(18) 家財道具処分・活用ビジネスの創出

- ・ 思い入れの強い家財道具や衣類について, 思いに寄り添ってその処分や活用について対応できる事業の立ち上げ

【実施主体候補】

N P O 法人, 地域住民

プログラム12 多様な住宅ストックと優れた住環境のアピール

(19) 洛西ニュータウンの優れた住宅・住環境の情報発信

- ・ 洛西ニュータウンの多様な住宅ストックの魅力と暮らし方, 緑豊かな子育て環境, 生きがいを持って高齢期を過ごせるアクティブなコミュニティなど, 優れた住環境をアピールするための「住むまちとしての魅力情報紙」など, 情報発信するためのコンテンツの作成と発信

【実施主体候補】

N P O 法人, 不動産事業者

テーマ3

良好な住宅地景観・住環境を守るための地域活動の推進

洛西ニュータウンの住宅地景観・住環境を守り、魅力を高める

まち全体の景観	パブリック空間の景観	住宅地内の景観
まちの変化に対応し、 全体の景観を適切に 誘導する仕組み	緑豊かなパブリック 空間の景観と魅力を 高める取組の推進	住宅地内の景観保全 と「緑のあるライフス タイル」の推進

良好な景観と住環境を評価し、守るための意識の醸成

洛西ニュータウンが他の地域と比べても緑豊かでゆとりのある良好な住環境が形成されており、将来にわたってこの価値ある環境を維持するために、地域住民が自らの居住する地域の住宅地としての景観や住環境について、思いや方向性を共有するとともに、さらには、建築主や事業者等と一緒に地域での景観づくりを進めていく取組を推進します。

★アクションプログラム★

プログラム13 まち全体の景観を適切に誘導する仕組みの検討

(20) まちの変化に対応し、まちの景観を適切に誘導するための住民参加の仕組み

- ・ 将来想定される施設等の建替え、その他の土地利用の転換において、洛西ニュータウンの環境との調和や活性化に向けたものとなるように、住民の意見を聴取できる仕組みなどを検討

【実施主体候補】
地域団体、NPO法人

プログラム14 緑豊かなパブリック空間の景観と魅力を高める取組の推進

(21) パブリック空間(公園・緑道など)の維持管理活動を通じたコミュニケーションの誘発

- ・ 公園愛護協力会の活動や一斉清掃の取組など、パブリック空間の維持管理活動を活性化するとともに、清掃活動に多世代が参加し交流や情報交換が生まれるとともに公園への愛着が高まることを期待したプログラム実施の推進

【実施主体候補】
地域団体、京都市

(22) パブリック空間の魅力を向上させる「多様な利用」の推進

- ・ 緑豊かなパブリックスペースの空間を活用して、住民等によるイベント(マルシェ・オープンカフェなど)など、多様な利用の促進によるまちの魅力の向上

【実施主体候補】
地域団体、NPO法人、京都市

プログラム15 住宅地内の景観保全と「緑のあるライフスタイル」の推進

(23) 緑のあるライフスタイルの推進

- ・ 緑豊かな住宅地景観を維持・向上するためには、住民自身が自宅の庭やバルコニーなどで緑や花を育てる活動を活発化させる必要があるため、庭・プランターづくりに関する情報発信やオープンガーデンの取組などの推進に向けた検討

【実施主体候補】
地域団体，NPO法人

(24) 地域ごとの住環境を守るためのルールや体制づくりの検討

- ・ 地域ごとに自らの住む住宅地の景観についてよいところと課題点を確認し、必要なルールづくりや既存ルールの適切な運用を進めるとともに、土地利用の変更に対する対応や空き家の適正な維持管理・活用などに対応できる体制づくりを検討

プログラム16 洛西ニュータウンの良好な景観と住環境を評価し、守るための意識の醸成

(25) 住宅地景観に対する勉強会・ワークショップの開催

- ・ 地域の住宅地景観の保全や住環境の魅力アップに関心のある住民を発掘・育成するために、まち歩きワークショップや洛西ニュータウンの住環境に関する勉強会などの開催

【実施主体候補】
地域団体，NPO法人

(26) 洛西ニュータウン全体の景観まちづくりのガイドラインの検討

- ・ 洛西ニュータウンで行われる今後の土地利用や建築において、良好な住環境や景観を保全するために、住民及び事業者等が同じ方向性を持って取り組めるようなガイドラインの検討

【実施主体候補】
地域団体，NPO法人

方針 2

生活・福祉など居住魅力を高めるサービスの向上

～若年層の定住とまちの魅力向上に資する子育て環境の創出～

～高齢者や障害者もみんなが生き活きと住みやすいまちづくり～

～新しい「働くスタイル」の創出～

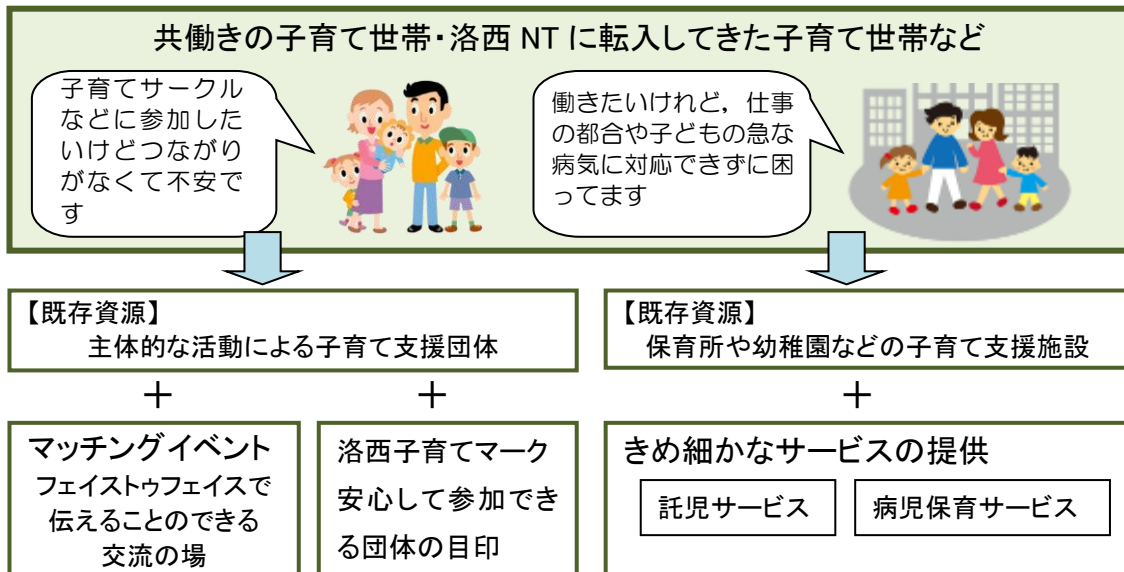
洛西ニュータウンでは少子高齢化の進展、ライフスタイルの多様化等が進み、地域で安心して住み続けるため、様々な支援を必要とする人が増えています。

洛西ニュータウンでの暮らしの変化に伴い、市民が主体となった子育て支援の活動や、高齢者の見守り活動、居場所づくり・生きがいつくりの活動等が広がっており、支え合いの地域づくりが展開されています。

今後、特にこれからの洛西ニュータウンを担う若い世代や、更に増加が予想される高齢者の人達が、安心して、生きがいをもって住み続けることができるニュータウンにしていくため、既に取組みられている子育て支援活動や高齢者・障害者の生活支援活動を更に充実し、また、新たなニーズに対応したサービスの提供を図ります。

テーマ 4

安心して子育てのできる子育て支援サービスの充実



子育て層に洛西ニュータウンは子育てしやすいまちとして評価されるためには、安心して子育てのできるサービスや施設、コミュニティが整っていることが重要です。

保育所や幼稚園などの子育て支援施設は一定程度整ってきている中で、共働き世帯が多い子育てファミリー層にとって、仕事と育児の両立ができるような「託児サービス」や「病児保育サービス」など、きめ細かなサービスの提供が求められます。

一方で洛西ニュータウンにおいては、区民の主体的な活動による子育て支援団体が多くあり、子育て中の家族同士のつながりや相互のサポートが豊かですが、そのサービスやネットワークにアクセスできていない家族もいることが課題となっており、その間をつなぐことが重要です。

★アクションプログラム★

プログラム17 託児サービス事業の実施

(27) 託児サービス事業の実施

- ・保育士資格を持つ住民など、地域人材によるネットワークと、ラクセーヌの空き空間の活用により、託児サービス事業を実施

【実施主体候補】
民間団体、ラクセーヌ商店会、
保育士資格を持つ住民、NPO法人

プログラム18 病児保育サービスの実施についての検討

(28) 病児保育サービスの実施についての検討

- ・病児保育サービスの実施について、医療機関との連携や民間事業者等による保育士派遣の仕組みづくりなど、どのような事業スキームで実施するか検討

【実施主体候補】
子育て支援団体、地域の医療機関

プログラム19 子育て支援団体・子育てサークルと子育てファミリーとのマッチング支援

(29) 子育て支援団体等と子育てファミリーとのマッチングイベントの開催

- ・子育て中のパパやママが子育て支援に関する情報が得られなかったり、同世代のパパやママ、子育ての先輩とのつながりを持てなかったりすることのないように、子育て支援団体や子育てサークルの情報をフェイストゥフェイスで伝えることのできる交流の場や様々な機会の創出

【実施主体候補】
子育て支援団体、地域の保育施設、教育機関、京都市、ラクセーヌ

(30) 安心して参加できる子育て団体の目印「洛西子育てマーク」の作成・普及

- ・洛西ニュータウン内の事業所やNPO、子育て支援団体などが、安心して参加したり関わりを持てる団体であることの目印となる「洛西子育てマーク」の作成・普及

【実施主体候補】
京都市、子育て支援団体

テーマ5

子ども達が健やかに育つ環境や学びの機会・魅力づくり

健やかに子どもを育てることができる環境

地域での見守りが行き届くまちの仕組み

子ども食堂など子どものセーフティネット活動の拡大など



刺激的な「学び」の機会の提供

大学等の高等教育機関・研究機関と小中学校・高校との連携促進



子育てしやすい洛西ニュータウンとして、支援・配慮が必要な子育て世帯に対して、コミュニティによる支え合いを得ながら、健やかに子どもを育てることができる環境をつくることが重要です。

特に、低所得世帯や1人親家庭の子ども達の個食(孤食)の問題への対応や、学習支援が必要な子ども達への対応など、地域での見守りが行き届くまちの仕組みを構築します。

また、子どもが魅力的な教育プログラムに触れることにより、知的好奇心を刺激するような「学び」の機会を得ることができるよう、大学や研究機関などの人材を活用し、子どもの将来を応援できるまちとします。

★アクションプログラム★

プログラム20 子どものセーフティネット活動の推進

(31) 子どものセーフティネット活動の拡大に向けた勉強会の開催

- 子ども食堂の展開を広げ、子どもの居場所となる活動を増やすため、子ども食堂の設置に関心のある住民や団体に対して、先進事例の勉強会や、食材提供などの面で大原野・大枝などの農家との連携を促すための勉強会などを地域の主体が開催

【実施主体候補】

子ども食堂運営者、子育て支援団体、NPO法人、京都市

- 上記勉強会に、京都市から委託を受けたNPO法人等から運営に関するアドバイザーを派遣

プログラム21 子どもの学習支援活動を拡大するための住民・大学生等の参加促進

(32) 学習支援活動への大学生の参加促進

- 既に実施されている子どもの学習支援活動の展開をさらに拡大するために、大学生の参加促進

【実施主体候補】

大学、国際日本文化研究センター、京都市

(33) 高等教育・研究機関と小中学校等との連携による教育プログラム提供

- 西京区内の人材・資源を活かした、より魅力的な教育プログラムの提供を進めるため、大学等の高等教育機関・研究機関と小中学校等との連携促進

テーマ6

子育て中のママ・パパが持つスキルを社会とつなげる仕組みづくり

子育てのため、一時的に離職・休業している父親や母親

子育てと仕事の両立を目指したい！



自分の持つスキルを社会で活かしたい



社会との接点を持って、子育て以外でもやりがいの持てる時間をつくりたい



多様なスキルを持つ人材の発掘を進め、スキルを持った人材によるコミュニティビジネスを行う「チーム」を結成



子育て支援などの活動において必要なチラシ・ノベルティの作成



まちづくりに活用できるフリー素材集の作成



子育て支援・まちづくり活動の活性化

楽しく子育てのできるまちとしてのイメージアップ

子育て層によるコミュニティビジネスの立ち上げ

子育てのため、一時的に離職・休業している父親や母親にとって、ビジネスやボランティア活動などで社会との関わりを持ち続けることができる環境を整えることにより、自分たちのライフスタイルや社会的な役割を維持しながら楽しく子育てができるまちとしてのイメージアップにつながります。

子育て中の父親・母親の多様なスキルを活かしたコミュニティビジネスの立ち上げを目指し、人材の発掘を進め、スキルを持った人材による「チーム」を結成することを目指します。

まずは、デザインスキルを持った人材の発掘とチーム化を進め、洛西ニュータウンにおける子育て支援などの活動において必要なチラシ・ノベルティなどの作成を支援する活動を立ち上げます。

★アクションプログラム★

プログラム22 様々なスキルを持つ子育て中のパパママがニュータウン内で働ける場・仕組みづくり

(34)「洛西ニュータウンパパ・ママさんデザインチーム(仮)」の設立

- 子育て中でいったん離職したり退職したりしているパパさん、ママさんが、自らが持つスキルなどを活かして、まちづくり活動など社会との接点を増やすために、洛西ニュータウン内のまちづくり活動に参加し、等で必要となるコンテンツ作成（チラシ・ホームページなど）を担う「洛西ニュータウンパパ・ママさんデザインチーム(仮)」の設立
- デザインチームに参加するプロとしての技術・経歴を持つ人材によるコミュニティビジネス化の検討

【実施主体候補】

子育て支援団体、様々なスキルを持つ子育て中の親

プログラム23 ビジネススキル・デザインスキルを持つ子育て層の発掘

(35) 洛西子育てマークのデザインコンペの実施

- デザインチームなどへの参画を促す仕掛けとして、「洛西子育てマーク」のデザインコンペを行い、洛西ニュータウンの中のデザインスキルを持つママさん、パパさんの発掘や「洛西子育てマーク」の認知度の向上

【実施主体候補】

子育て支援団体、デザインスキルを持つ子育て中の親

(36) 各種コンテストの実施による人材の発掘

- 「洛西魅力発信動画コンテスト」「洛西ニュータウン写真コンテスト」など、コミュニティビジネスにつながる可能性のある多様なスキルを持つ人材を発掘するための取組の実施

プログラム24 洛西ニュータウンのまちづくりに活用できるデザイン素材集の作成

(37) 洛西ニュータウンフリー素材集の作成

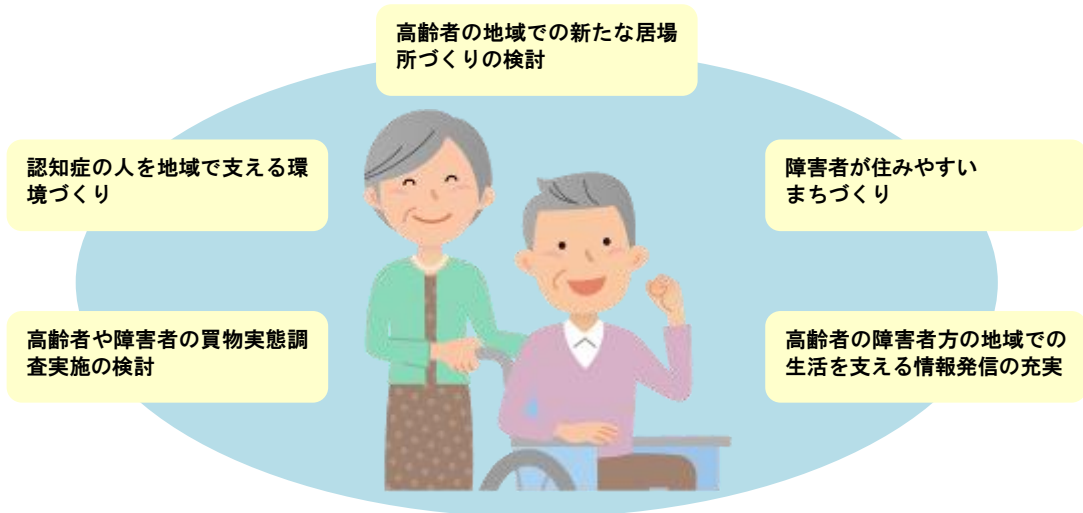
- デザインチームで作成したデザインコンテンツや、洛西ニュータウンの風景写真などをデータベースとしてオープン化し、洛西ニュータウンにおけるまちづくりコンテンツの作成に使えるフリー素材として提供
- フリー素材としての写真などを収集する、まち歩きイベントなどの開催

【実施主体候補】

子育て支援団体、京都市

テーマ7

高齢者・障害者に住みやすいまちづくり，生きがいづくり



洛西ニュータウンでは，高齢化が進む一方，市民が主体となった高齢者の見守り活動や居場所づくり活動，身近な生活支援の活動が広がっており，高齢者が地域で生活していく上で，大きな支えになっています。

今後，高齢者がいつまでも洛西ニュータウンで安心して，生きがいをもって住み続けることができるニュータウンにしていくため，ニュータウン内に高齢者の地域での生活を支える医療・福祉の拠点的機能の確保に向けた検討を進めるほか，高齢者の方の地域での生活を支援する体制の充実，生活サポート活動や地域での居場所づくり，見守り活動等を行う団体への支援充実等を図ります。

また，高齢者や障害者の方々が地域で買物しやすくなるための環境充実に向けた検討や，認知症の方もニュータウンで安心して暮らしていくことができる環境づくりに取組ます。

★アクションプログラム★

プログラム25 高齢者や障害者の地域での生活を支える情報発信の充実

(38) 高齢者や障害者の暮らしに関する情報発信

- 様々な媒体を活用した高齢者の居場所，医療施設，介護保険等，高齢者の暮らしに関する情報や障害者の方の福祉サービス，相談窓口等の暮らしに関する情報の発信充実

【実施主体候補】
民間団体，京都市

プログラム26 高齢者の地域での新たな居場所づくりの検討

(39) 高齢者の「居場所」となる既存施設等の活用検討

- 空き家やサブセンター，商業施設の空き空間，身近な公園や緑道等，高齢者の「居場所」となる既存施設等の活用検討

【実施主体候補】
事業者，UR都市機構，京都市住宅供給公社，京都市，地域団体

プログラム27 障害者が住みやすいまちづくり

(40) 啓発活動の展開

- ・ 障害や障害者に対する正しい理解や広く関心を得られるよう、障害の個性等に留意しつつ、様々な機会を通じた啓発活動の展開

【実施主体候補】
民間団体、事業者、京都市

(41) 障害者を支えるボランティア活動の支援

- ・ 障害者の地域での生活を支援するボランティアの増加につながるボランティア育成の取組や、活動の機会の提供

プログラム28 高齢者や障害者の買物実態調査実施の検討

(42) 高齢者・障害者の買物実態調査実施の検討

- ・ 洛西ニュータウンにおける買物ニーズの把握につながる買物実態調査を実施するとともに、地域のニーズを踏まえた買物サービスの拡大を目指した実験的取組の検討

【実施主体候補】
事業者、京都市

プログラム29 認知症の人を地域で支える環境づくり

(43) 認知症の人を支える人材育成

- ・ 認知症サポーター養成講座の継続的な開催と、講座への参加対象者の拡大

【実施主体候補】
民間団体、事業者、医療機関、京都市

(44) 認知症に関する啓発活動の展開

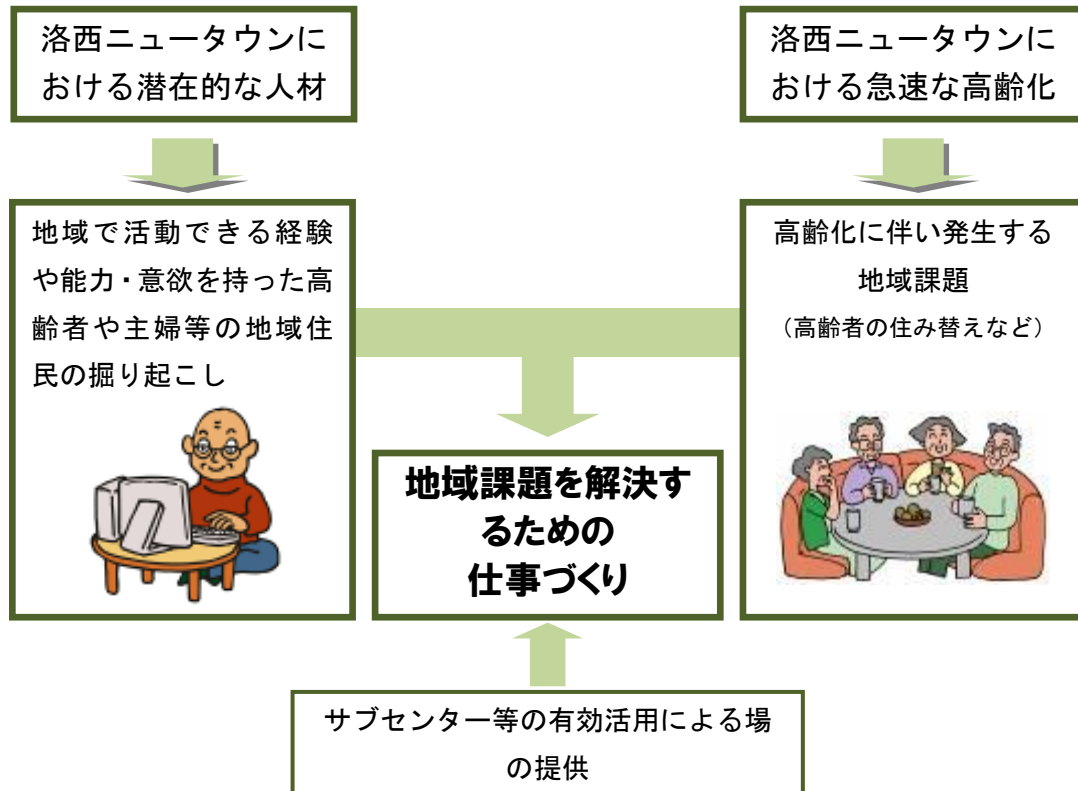
- ・ 地域で開催されるイベント等の機会を通じた認知症に関する啓発活動の展開

(45) 地域における認知症サポート活動展開の支援検討

- ・ 認知症あんしんサポートリーダーの地域での活動充実につながる支援の検討
- ・ 軽度の認知症の人が、洛西ニュータウンや大原野地域等できいきと活動できる仕組みづくりの検討

テーマ8

高齢者を始め地域住民がニュータウン内で働ける機会・場づくり



洛西ニュータウンでは、急速に高齢化が進展しつつある中、ニュータウン外の勤務場所から退職後、居住している地域の中で活動される高齢者も増えてくると考えられます。また、出産育児等を機会に退職後、子育てが一段落した主婦も地域の有益な人材と考えられます。こういった住民の中で、地域で活動する意欲のある高齢者等がニュータウン内で働くことができる機会や場を提供していけるよう、サブセンター等、有効に活用することができる場の提供について検討を進めるとともに、地域で活動することができる経験や能力、意欲を持った人材を掘り起こします。

★アクションプログラム★

プログラム30 地域課題の解決に向けた仕事づくり

(46) サブセンター等の活用による働く場の創出

・高齢者を始め地域住民の持つ経験やスキルを活かした起業や就業を促すために、サブセンター等（住民ニーズも踏まえながら）において、洛西ニュータウンの地域課題にも対応するビジネスのインキュベーションの場やスモールオフィス等として、地域住民の働く場の創出を検討

【実施主体候補】

高齢者を始めとした地域住民、民間団体、京都市住宅供給公社、京都市

方針 3

洛西ニュータウンの魅力充実と交流人口の呼び込み

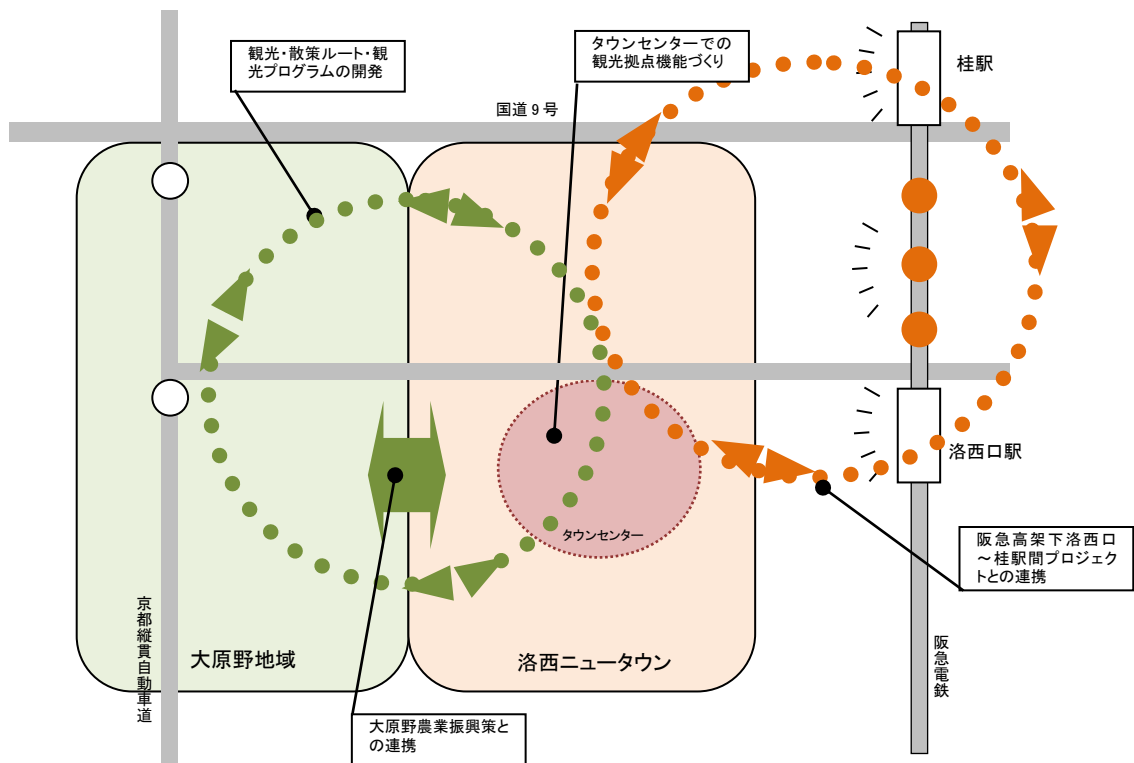
～小畑川を始めとして、水・緑・まちの魅力充実～

洛西ニュータウンには、小畑川や公園などのまちなかに緑が広がり、西山や広大な農地が広がる大原野地域とも隣接しており、豊かな自然環境とまちが共存する恵まれた地域になっています。将来にわたり、洛西ニュータウンが住みよいまちであり続けるためには、大原野地域等を含む広域的なまちづくりの観点から、地域の拠点的功能を高めていくことが必要だと考えられます。また、まちの資源に着目し、まちの魅力に磨きをかけることで、交流人口の増加や定住の促進につなげ、地域の賑わいを創り出していくことが重要です。

そのため、観光交流の拠点的功能の確保や大原野地域と連携した魅力資源のネットワーク化、豊かな自然を活かした憩いの空間の創出等を進め、魅力ある洛西ニュータウンづくりにつなげます。

テーマ 9

洛西ニュータウンや周辺地域の魅力を活かした交流拠点機能の充実



新たな京都の西の玄関口として、魅力ある洛西ニュータウンにしていくため、タウンセンターでの観光拠点機能づくりや、ニュータウンの都市的機能と大原野の農業や歴史文化を有する魅力資源とのネットワーク化による観光プログラムの開発等に取り組み、人と人との交流の創出や住みよいニュータウンづくりを進めます。

★アクションプログラム★

プログラム31 タウンセンターでの観光・賑わい拠点機能づくり

(47) 観光案内機能や宿泊機能の充実

- ・RCVや商業施設と連携した地域のイベント情報や観光情報の発信や窓口対応等による観光案内機能の充実
- ・洛西，大原地域等を訪れる人々の宿泊拠点となるホテルの誘致

【実施主体候補】

事業者，NPO法人，京都市住宅供給公社，京都市

(48) 地域巡りの拠点となる機能の設置・充実

- ・洛西ニュータウンや大原野地域等を散策する人やランニング，サイクリング等をする人が拠点として活用できるランニングステーション等，地域を巡る人の拠点となる拠点機能の設置・充実の検討観光拠点機能の設置・充実
- ・サイクリングで来訪する人が利用できるサイクルラックの設置

(49) 地元産農産物等の販売拠点の充実

- ・タウンセンター内の空間やエミナース，高島屋等での大原野産野菜等，特産品を販売する拠点の充実

(50) タウンセンターを活かした夜の賑わいづくり

- ・タウンセンターで，仮設の飲食店の出店や音楽イベント等を組み合わせた，夜間のパルイベントの開催等，ニュータウンの夜の賑わいづくり
- ・高島屋，ラクセーヌによる記念イベントの開催

プログラム32 阪急高架下洛西口～桂駅間プロジェクトとの連携

(51) 地域の魅力を発信する観光プログラムの検討

- ・鉄道駅を拠点とするウォーキング，ランニング，サイクリング等，地域の魅力資源を巡る観光ルートの開発や観光マップの作成

【実施主体候補】

事業者，NPO法人，京都市

(52) 洛西口，桂駅等での観光情報発信

- ・洛西ニュータウンや大原野地域の魅力資源や観光コース等が掲載された観光マップ等のPR

プログラム33 観光・散策ルート・観光プログラムの開発

(53) 観光・散策ルートの検討

- ・商業機能や観光案内機能が集積するタウンセンターを拠点とし，竹林公園等ニュータウン内の資源や，大原野地域の歴史や自然的資源等をつなぐ観光・散策ルートの検討

【実施主体候補】

事業者，NPO法人，京都市住宅供給公社，京都市

(54) 新たな観光プログラムの開発

- ・竹林公園等，地域の魅力資源と連携した新たな観光プログラムの開発

プログラム34 大原野の農業振興策との連携

(55)大原野地域と連携した周遊コースの開発

- ・大原野地域の農業体験や農産物の購入，農産物を活かした食等を楽しむことができる周遊コースの開発

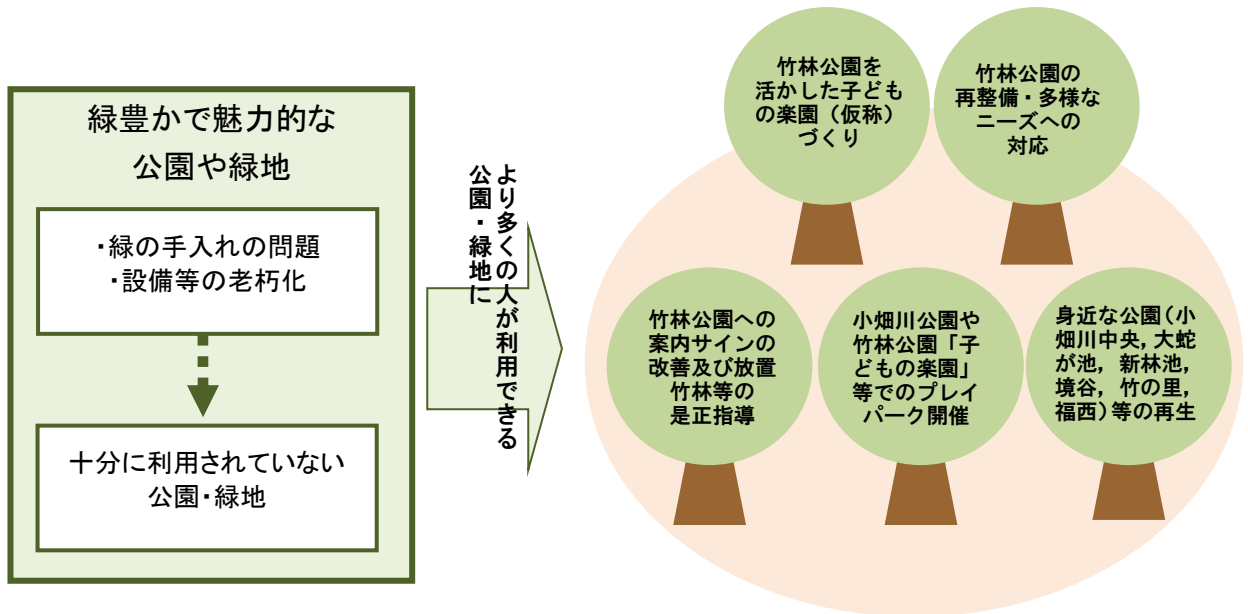
【実施主体候補】
民間団体，事業者，NPO法人，京都市

(56)大原野の農産物の販売拠点の充実

- ・らくさいマルシェとマルシェ大原野との連携等，洛西ニュータウン内での大原野産の農産物の販売拠点の充実

テーマ 10

緑豊かな公園の再生と新たな魅力創造による憩い・遊びの空間づくり



ニュータウン内には大きな公園や身近な生活空間にある小さな公園、緑地等があり、いずれも緑豊かで、地域の憩いの場として、また、洛西の来訪者にとっても魅力的な空間となっています。

一方で、緑の手入れの問題や設備の老朽化等、様々な理由から十分な利用がなされていない場所もみられることから、より多くの人々が利用できるよう、公園や緑地の再生を進めます。

★アクションプログラム★

プログラム35 竹林公園を活かした子どもの楽園(仮称)づくり

(57) 子どもの楽園(仮称)の再整備

- ・竹林公園の子どもの広場について、幅広い年齢層の子どもが遊ぶことができ、保護者も憩うことができるような機能の付加等、再整備による「安心して自由に子どもを遊ばせることができる、ニュータウン内外から訪れたいくなる」子どもの楽園(仮称)整備

【実施主体候補】

京都市、京都市住宅供給公社、地域団体、地域住民

プログラム36 竹林公園の再整備・多様なニーズへの対応

(58) 園内施設の充実・整備

- ・案内サインの充実・整備やイベント時の竹林のライトアップ等の演出

【実施主体候補】
京都市，京都市住宅供給公社，
地域団体，事業者

(59) ターゲットを明確にした来訪者誘致の推進

- ・レクリエーションや学習等のために来訪する幼児・小学生，園内の雰囲気を楽しむコスプレイヤーや外国人等，ターゲットを明確にした来訪者誘致の推進

(60) 園内資源の積極的な情報発信

- ・様々な種類がある竹や園内に安置される石仏等，園内資源の積極的な情報発信

(61) 他事業者と連携した新たな園内散策プログラムの開発

- ・地元の飲食店等と連携した新たな園内散策プログラムの開発

プログラム37 竹林公園への案内サインの改善及び放置竹林等の是正指導

(62) 案内サインの充実

- ・幹線道路に設置されている車利用者向けの案内サインの充実

【実施主体候補】
京都市，京都市住宅供給公社

(63) 放置竹林や資材置き場への改善指導

- ・十分な手入れが行き届いていない放置竹林や資材置き場などを対象にした改善指導

プログラム38 小畑川公園や竹林公園「子どもの楽園」等でのプレイパーク開催

(64) プレイパークの開催

- ・小畑川中央公園をはじめ，竹林公園等，ニュータウン内の地区公園や近隣公園等を活かしたプレイパーク（※）の開催

【実施主体候補】
地域団体，民間団体，京都市
住宅供給公社，京都市

※ プレイパーク…子どもたちが，あらかじめ設置された設備や遊びのプランの選択肢に縛られることなく，自らの想像力で工夫して，自由に変更や改変を加えて，自分たちのアイディアとスタイルで遊びを作り出すことの出来る場。子どもの安全の確保のために指導員（プレイリーダー）を配置することが多い。

(65) 魅力イベントの開催

- ・プレイパーク等イベント時等の，オープンカフェ，移動図書館，移動カフェ等の設置

プログラム39 身近な公園（小畑川中央，大蛇が池，新林池，境谷，竹の里，福西）等の再生

(66) 魅力ある公園再整備

- ・バスケットブランコや健康遊具を設置するとともに，老朽化が著しいフェンスや手摺等の安全施設の更新，通路の補修，危険木の撤去などを行い，魅力ある公園として整備
- ・公園の再整備や管理運営に対する利用者・住民意見を反映する機会の設定

【実施主体候補】
京都市，地域団体，民間団体

(67) 緑の適切な管理

- ・公園内の鬱蒼した場所や死角の発生防止等，公園の快適な環境を維持するための緑の適切な管理

テーマ 11

生物多様性に配慮したまちづくり

洛西ニュータウンには、ニュータウンの中央を流れる小畑川をはじめ、緑豊かな公園や緑地が点在しており、これらの場所には様々な生き物が生息し、身近な場所で生き物とふれあうことができるなど、大規模開発されたニュータウンでありながらも、自然や四季を体感できる地域になっています。

今後も緑や様々な生き物を大切に、次世代へ引き継いでいくため、生物多様性に配慮したまちづくりを進めます。

★アクションプログラム★

プログラム40 生物多様性について学ぶことができる空間づくり

(68)案内板の充実

- ・小畑川に生息する生物等を紹介する案内板の充実

【実施主体候補】
民間団体，京都市

(69)学習プロジェクトの実施

- ・小畑川を中心とした、生物多様性を学ぶための観察会、折り紙体験等学習プロジェクトの実施

テーマ 12

サブセンターの有効活用

洛西ニュータウンには、まちの中心のタウンセンターとともに、各住区には、サブセンターが計画的に配置されていますが、商業・サービス機能の低下がみられるほか、コミュニティ施設となっている会館についても、十分な利用がなされていない状況にあります。今後、地域住民の身近な生活拠点として、活性化につながる取組を進めます。

★アクションプログラム★

プログラム41 サブセンターの活性化につながる有効活用の推進

(70)各サブセンター会館の有効活用

- ・サブセンターに対する住民ニーズを踏まえつつ、福祉、文化、芸術分野等との連携も含め、コミュニティ機能の向上等に資する活用方法、管理手法などの充実・見直し（※）

【実施主体候補】

京都市住宅供給公社、民間団体、事業者、NPO法人、京都市

(71)分譲店舗の有効活用

- ・分譲店舗所有者と活用希望者をマッチングさせる仕組みの構築（※）

※…サブセンターの利用者や分譲店舗の権利者へのアンケートから課題やニーズを把握し、これを踏まえたサブセンターの活性化や会館等の有効活用につながる方策を検討していく。

方針 4

イメージ戦略も含めた仕掛けづくりと多様なメディアによる ニュータウン情報の発信

～ 訴求力の高い情報発信による洛西ニュータウンブランドのマネジメント ～

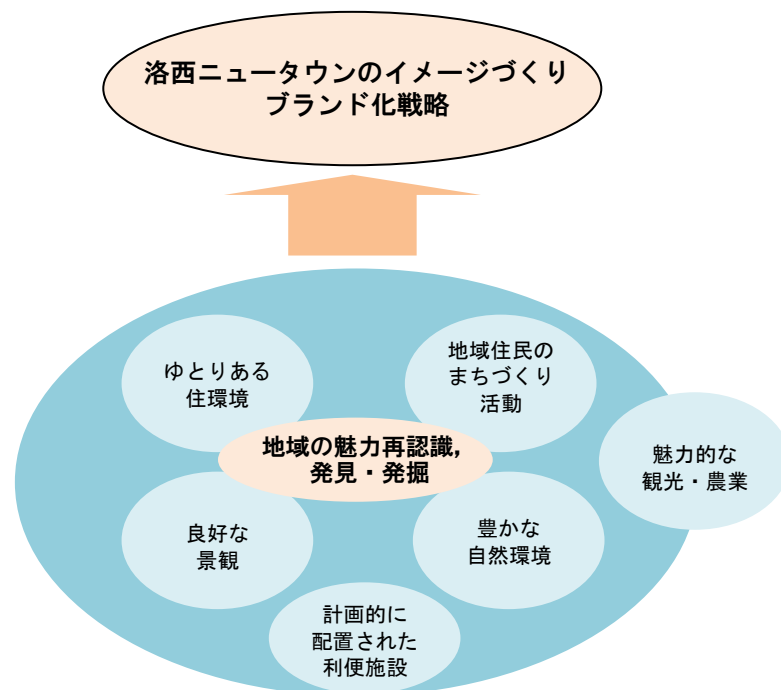
洛西ニュータウンは、まちびらきから 40 年を迎え少子高齢化・人口減少が進み、まちの賑わいが低下しつつあります。

一方、まちの「成熟化」も進んでおり、地域でのまちづくり活動やイベントの開催、高齢者の居住支援活動、子育て支援活動等、市民自らの手による地域活動が展開されています。

今後、更に洛西ニュータウンでの豊かな暮らしと若年ファミリー層の呼び込みなどにつながっていくよう、地域における、きめ細やかな生活関連情報や観光・交流の観点からの魅力情報の収集や共有、発信を進めるとともに、地域への誇りが高まるよう、これからのニュータウンでのライフスタイルも発信し、「訪れたい」「住みたい」魅力ある洛西ニュータウンのイメージづくりやブランド化を図ります。

テーマ 13

魅力があり住みよいまち、洛西ニュータウンのイメージ戦略



豊かな自然環境や良好な景観、地域住民によるまちづくり活動の展開等、様々な魅力を有するニュータウンについて、自らのまちを見つめ直し、住みよいまちであることを再認識できるよう、さらには、ニュータウン以外の人にもニュータウンの魅力に気づいてもらえるよう、「訪れたい」「住みたい」洛西ニュータウンのイメージづくりやブランド化戦略を進めます。

★アクションプログラム★

プログラム42 洛西ニュータウンのイメージづくり, ブランド化戦略

(72) 洛西ニュータウンのイメージづくり・ブランド化戦略の構築

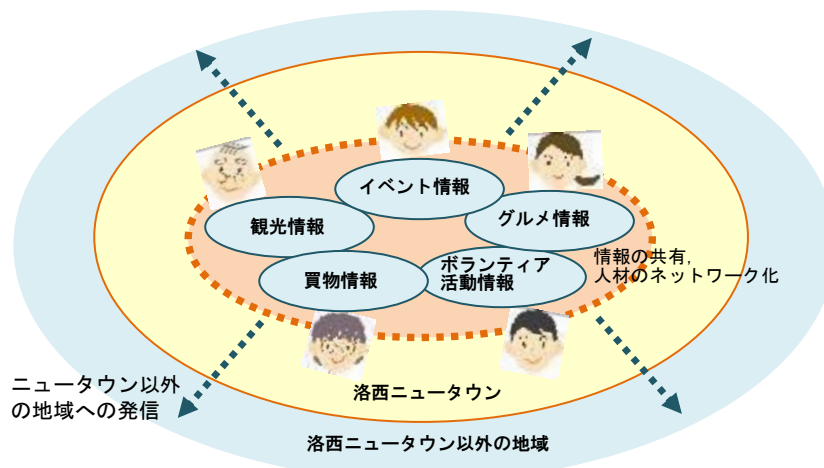
- 洛西ニュータウンの豊かな緑や住民が主体となった様々なまちづくり活動, ゆとりある住環境, 周辺地域を含めた観光や農業など魅力に富んだ地域資源を活かした, 住み続けたいまち, 訪れたいまち等のイメージづくり, ブランド化戦略の構築

【実施主体候補】

民間団体, NPO法人, 京都市

テーマ 14

ポータルサイトやまちづくり通信などによる情報発信



テーマ13で考えるイメージ戦略などに基づき, 洛西ニュータウンの魅力を広く発信し, 子育てファミリー層を始めとする流入促進につながるPR活動の推進を行っていきます。

また, 洛西ニュータウン内へ, 「わくわく通信」や「らくさい tocot」など, ポータルサイト等をフルに活用し, 洛西ニュータウンでの暮らしの情報や地域でのイベント情報等を発信し, ニュータウンでの生活の質の向上や地域の賑わいづくりに結びつるとともに, 地域で活動する人材のネットワーク化や情報共有を進め, ニュータウンのまちづくり活動の活発化を図ります。

あわせて, まちづくり通信の発行等を通じて, 洛西ニュータウンアクションプログラムの取組状況なども含めて, 地域によるまちづくりの取組の気運を更に盛り上げていきます。

★アクションプログラム★

プログラム43 ニュータウンへの流入促進につながる PR 活動の推進

(73) ニュータウンへの流入促進につながる PR 活動の推進

- ・民間事業者等と連携し、洛西ニュータウンの魅力を詰め込んだ PR 動画の作成など、ニュータウンへの流入促進につながる PR 活動の推進

【実施主体候補】
事業者，民間団体，京都市

プログラム44 ポータルサイト等による積極的な情報発信

(74) 洛西ニュータウンの暮らし・イベント情報等の発信

- ・「わくわく通信」や「らくさい tocot」といったポータルサイト等を活かした，洛西ニュータウンの暮らしの情報，イベント情報等の発信

【実施主体候補】
NPO法人，事業者，京都市

(75) 洛西ニュータウン以外の人にも活用してもらえる情報の発信

- ・交流人口の増加や転入者増加等につながるよう，周辺地域を含む洛西ニュータウンの暮らしや観光情報等の発信

プログラム45 まちづくり通信による情報発信

(76) まちづくり通信等によるニュータウン内の情報発信

- ・紙媒体等，多様な媒体を活用し，まちづくり通信等，地域のまちづくり情報等のニュータウン内への情報発信

【実施主体候補】
京都市

方針 5

洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討

洛西ニュータウンを次世代に引き継ぐことのできるまちとするために、本アクションプログラムの取組期間にかかわらず中長期的に取り組む必要のある事業も推進する必要があります。

特に、人口減少や少子高齢化がさらに進む社会状況を踏まえ、交通や学校、住宅といったまちの基盤ともなる施設やサービスをまちの変化に合わせて再構築することで、更なる活性化を推進する必要があります。

テーマ 15

洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討

★アクションプログラム★

プログラム46 児童数・生徒数減少への対応と小中学校教育環境の検討

(77) 児童数・生徒数減少への対応と小中一貫教育の推進や先進的な学校づくりの検討

【実施主体候補】
地域団体，京都市

- ・子育て世帯にとって関心の高い教育環境の充実を図るため、児童数・生徒数減少への対応と小中一貫教育の推進や先進的な学校づくりを検討

プログラム47 洛西ニュータウンの活性化につながる新たな公共交通システムの検討

(78) 交通利便性と地域の魅力の向上につながる新たな公共交通システムの検討

【実施主体候補】
事業者，京都市

- ・洛西ニュータウンの活性化に向け、現居住者のニーズも踏まえながら、交流人口の呼び込みや定住促進を図るため、交通利便性の更なる向上を打ち出し、活性化の象徴となる新たな公共交通システムの導入を検討

プログラム48 少子高齢化に対応した市営住宅団地再生の検討

(79) より安心・快適に住み続けられる市営住宅団地への再生の検討

【実施主体候補】
事業者，京都市

- ・現在の浴室の仕様（シャワーが無いなど）やエレベーターが設置されていないことなど、子育て世代や高齢者のニーズに対応しきれていない市営住宅団地において、より安心・快適に住み続けられる住環境の確保に向けて、民間事業者の取組事例なども参考にしつつ、団地再生の事業手法を検討

プログラム49 住まいの近くで働ける場づくりの検討

(80) 洛西ニュータウンで住み・働く職住近接のまちづくりの検討

- 地域の活性化や住民の活躍など、洛西ニュータウンの魅力を更に高めていけるようニュータウンやその周辺において、良質な住環境の中で居住しつつ、近くで働くことのできる職住近接のまちづくりを検討

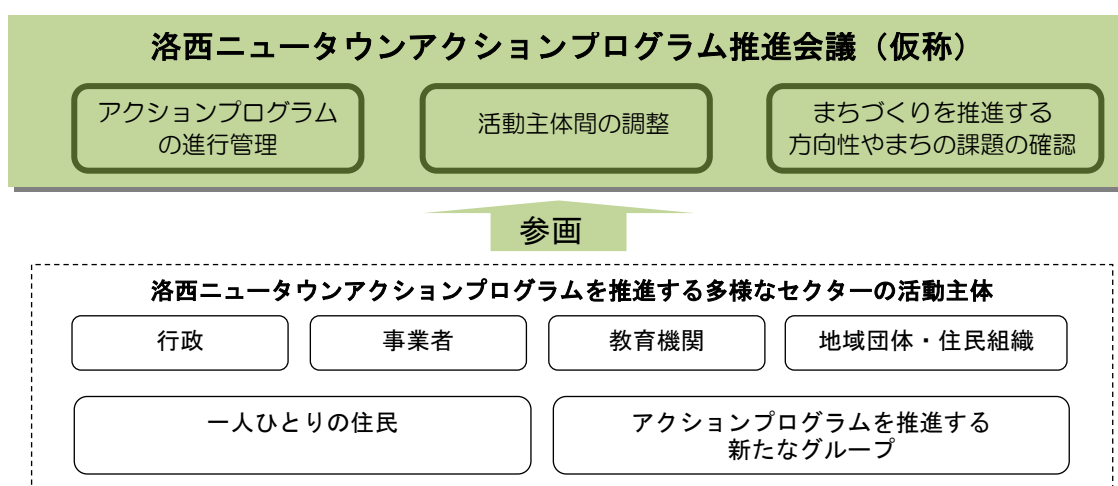
【実施主体候補】
事業者，京都市

8 推進体制

洛西ニュータウンアクションプログラムに掲げる具体的な取組の推進を図るため、以下のように、まちづくりを推進する体制等の検討を行います。

①洛西ニュータウンアクションプログラムの進行管理を行う推進会議（仮称）の設立

洛西ニュータウンアクションプログラムに位置づけた各事業の推進を図るために、アクションプログラムの進捗を継続的に確認するための場が必要であり、洛西ニュータウンアクションプログラム検討会の構成を基本として、洛西ニュータウンのまちづくりに関連する多様なセクターが参加する「洛西ニュータウンアクションプログラム推進会議（仮称）」を設置します。



②洛西ニュータウンアクションプログラムに基づく市民主体の取組を支援する制度の導入

洛西ニュータウンアクションプログラムに位置づけた各事業のうち、特に、市民や市民団体、地域団体等が取り組むプロジェクトについて、活動を立ち上げる初動期を支援する制度を導入し、市民セクターによる取組を後押しするとともに、自立的、持続的な活動へと育てていくために情報提供やアドバイスなどを行う仕組みの構築を検討します。

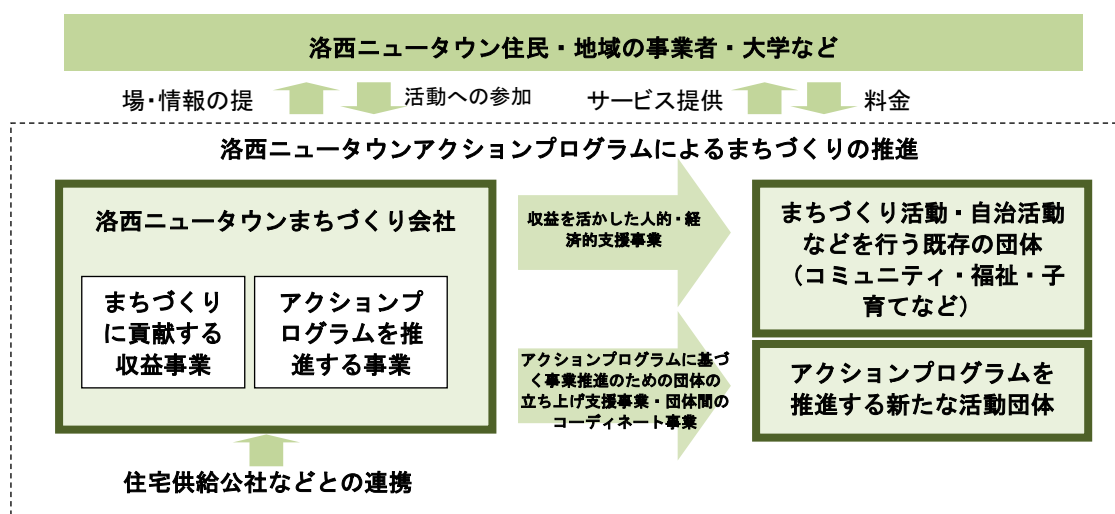
また、主体的に活動を行う団体等が、横のつながりを強め、情報や資源を共有化することにより、より活発な活動を展開することを目指し、活動団体同士が交流し連携を促すための場の設定を検討します。

③洛西ニュータウンアクションプログラムの各事業の実施をサポートするまちづくり組織（まちづくり会社）の設立の検討

洛西ニュータウンアクションプログラムに位置づけた各事業を地域の力で継続的に実施するためには、人的サポート、団体間のコーディネート、資金的サポートなどを確保することのできる、地域が主体となったまちづくり組織（まちづくり会社）が必要です。

そこで、まちの課題解決のためのコミュニティビジネスの収益を確保しながら行い、得られた収益を、その他の課題解決に向けた活動などに還元するとともに、効果的な事業実施を目指した団体間のネットワークづくりや人材育成、調査業務など、実施できる体制の構築を検討します。

【イメージ図】



9 参考資料

(1) 洛西ニュータウンアクションプログラム 策定過程

	検討会	まちづくり 通信・意見 聴取等	ワーキンググループ					
			ツーリズム、 魅力向上 情報発信	住まい	高齢者 の 居住支援	子育て 支援	サブセンター・ サブセンター 施設検討	ソーシャル・ ワーキング
4月	第1回 (4/27) ○検討会・WGの進め方 ○洛西NTの現状認識 ○アクションプログラムの検討の視点							
5月								
6月		第1号	第1回	第1回	第1回	第1回		
7月	第2回 (7/13) ○OWGの進捗状況(アクションプログラムの方向性) ○アクションプログラムの骨子イメージ	第2号	第2回	第2回		第2回		
8月		★ (8/28)	第3回 第4回		第2回	第3回		
9月	まちづくりトーク ○市民等70人参加の意見聴取 ○各分野におけるまちづくりの方向性	第3号	第5回	第3回		第4回 第5回	第1回	
10月			第6回					
11月	第3回 (11/2) ○アクションの具体案 ○アクションプログラムとしての全体構成(「素案」の作成)		第7回			第6回		
12月		○アクションプログラム 検討資料周知	第4号			第3回	第7回	
1月	第4回 (1/31) ○アクションプログラム(案)の作成							
2月			第8回			第8回		
3月	策定	⑤						

サブセンター等の状況確認
 ↓
 ↑

サブセンター権利者・利用者
 アンケートの準備・実施
 ↓
 ↑

子育て支援WGとの共同

合同ワーキンググループ
 ○子どもの安心・安全な遊び場づくり連携プロジェクト(竹林公園、小畑川)
 <ツーリズム、魅力向上情報発信、子育て支援>
 ○洛西ニュータウンを高齢者が住み続けやすいまちとするための連携プロジェクト
 <住まい、高齢者居住支援>
 ○子どもの安心・安全な遊び場づくり連携プロジェクト(身近な公園)
 <住まい、子育て支援、高齢者居住支援>

(2) 洛西ニュータウンアクションプログラム検討会委員

	団体名(役職等)	氏名
学識経験者 (アドバイザー) (4名)	京都女子大学家政学部准教授	井上 えり子
	京都大学大学院工学研究科教授	高田 光雄
	京都市立芸術大学美術学部教授	藤本 英子(会長)
	兵庫県立大学環境人間学部准教授	安枝 英俊(会長職務代理者)
地域団体等 (7名)	新林学区自治連合会会長	片岡 純治
	境谷学区自治連合会会長	平尾 泰文
	福西学区自治連合会会長	藤本 廣志
	竹の里地域自治連合会会長	平井 義昌
	なんやかんや「大原野」推進協議会会長	永谷 文隆
	西京区社会福祉協議会事務局長	上野 正則
	西京区洛西管内子育て支援事業等実行委員長	竹原 千恵子
NPO 法人等 (5名)	洛西ニュータウン創生推進連絡会会長	香水 義三
	NPO法人らくさいライフスタイル代表	村下 恒雄
	NPO法人洛西福祉ネットワーク理事長	齋藤 信男
	つどいの広場ま〜ぶりんぐ施設長	尾田 真紀
	マミーズアップ代表	坂本 景子
事業者 及び 大学 (9人)	ホテル京都エミナース総支配人	清兼 拓也
	医療法人清仁会洛西ニュータウン病院事務部庶務課	山下 充彦
	ラクセーナ商店会会長	中川 敏逸
	株式会社高島屋洛西店店長	小山 良治
	洛西ケーブルビジョン株式会社取締役総務部長	新治 光子
	阪急電鉄株式会社都市交通事業本部 都市交通計画部部長(交通まちづくり担当)	奥野 雅弘
	京都市立芸術大学事務局長	荒木 裕一
	京都経済短期大学事務局長	ペレイラ 清志
	明治国際医療大学附属統合医療センター長	今西 二郎
関係機関 及び 行政 (9人)	京都市住宅供給公社専務理事	西澤 亨
	京都府建設交通部住宅課長	竹村 好史
	(独)都市再生機構西日本支社京奈エリア経営部部長	菊池 浩史
	京都市都市計画局都市企画部都市政策担当部長	善積 強
	京都市都市計画局住宅室長	簀 哲也
	西京区洛西支所地域力推進室長	赤井 明子
	京都市教育委員会事務局生涯学習部首席社会教育主事 (子ども育みサポーター)	江草 文佐夫
	京都市立福西小学校校長	吉岡 孝夫
	京都市立洛西中学校校長	近藤 博史